

プレナリーレクチャー

プレナリーレクチャー

7月4日(木) 10:45 - 11:45 第1会場

座長：上原 孝 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)

PL “Dark” Pathways of Protein Transnitrosylation Injure Synapses in Alzheimer's Disease: Mechanism and Potential Treatment
10:45 - 11:45

Stuart A. LIPTON (Neurodegeneration New Medicines Center and Department of Molecular Medicine, The Scripps Research Institute, La Jolla, CA, USA)

特別講演

特別講演 1

7月3日(水) 9:30 - 10:30 第1会場

座長：伊藤 昭博 (東京薬科大学生命科学部)

SL1 生理活性物質の作用機序を探る

9:30 - 10:30

吉田 稔^{1,2} (¹ 理化学研究所環境資源化学研究センター, ² 東京大学特別教授室)

特別講演 2

7月3日(水) 10:45 - 11:45 第1会場

座長：上原 孝 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)

SL2 毒性アルデヒドに対する免疫記憶

10:45 - 11:45

内田 浩二 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻)

特別講演 3

7月4日(木) 9:30 - 10:30 第1会場

座長：熊谷 嘉人 (九州大学大学院薬学研究院生理学分野)

SL3 酸化ストレス応答の分子基盤と病態

9:30 - 10:30

山本 雅之 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

特別講演 4

7月5日(金) 9:00 - 10:00 第1会場

座長：西田 基宏 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)

SL4 有害事象を低減させるデータサイエンス

9:00 - 10:00

金子 周司 (京都大学医学研究科ビッグデータ医科学分野)

教育講演

教育講演

7月3日(水) 13:30 - 14:30 第2会場

座長：菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

EL 危険 (かつての違法、脱法) ドラッグの現状を知り、これからの考える

13:30 - 14:30

吉田 武美 ((公社) 薬剤師認定制度認証機構、昭和大学名誉教授)

シンポジウム

シンポジウム 1

7月3日(水) 9:30 - 11:30 第2会場

■ 最新の実験動物の薬物代謝酵素知見からヒト酵素特徴の再確認へ

座長：山崎 浩史 (昭和薬科大学)

清水 万紀子 (昭和薬科大学薬物動態学研究室)

S1-1 イヌ、ブタ、カンクイザル、ツバイにおけるチトクロム P450 の同定・解析

9:30 - 10:00

宇野 泰広 (鹿児島大学 共同獣医学部)

S1-2 フラビン含有酸素添加酵素の触媒機能の動物種差

10:00 - 10:30

清水 万紀子 (昭和薬科大学薬物動態学研究室)

S1-3 薬物代謝における動物種差：ヒトにおける医薬品の代謝・毒性の予測モデルとしてのヒト肝キメラマウス

10:30 - 11:00

上原 正太郎 (公益財団法人 実中研)

S1-4 ヒトモデル動物での薬物体内情報を利用したヒト治療薬動態予測とモニタリング

11:00 - 11:30

山崎 浩史 (昭和薬科大学)

シンポジウム 2

7月3日(水) 9:30 - 11:30 第4会場

■ 日韓合同シンポジウム：レドックスシグナルと臓器／組織毒性

座長：熊谷 嘉人 (九州大学大学院薬学研究院生理学分野)

Jin HAN (Cardiovascular and Metabolic Disease Center, College of Medicine, Inje University)

Introduction

9:30 - 9:32

S2-1 Finding NOX2 inhibitors: Targeting regulatory subunits for isoform selectivity

9:32 - 10:01

Moo-Yeol LEE (BK21 FOUR Team, Integrated Research Institute for Drug Development, College of Pharmacy, Dongguk University)

S2-2 心筋の虚血・親電子ストレス耐性における硫黄代謝の役割

10:01 - 10:30

西村 明幸 (生理学研究所心循環シグナル研究部門)

S2-3 過剰な細胞内活性イオウ分子による細胞ストレスに対する適応応答

10:30 - 10:59

秋山 雅博 (昭和大学臨床薬理研究所)

S2-4 Novel cardiac and mitochondrial effects of Echinochrome A

10:59 - 11:28

Hyounng Kyu KIM (Cardiovascular and Metabolic Disease Center, Inje University)

Conclusion

11:28 - 11:30

■【日本毒性病理学会合同シンポジウム】日本毒性病理学会からのトピック：薬物誘発病変の回復性

座長：佐野 智弥（武田薬品工業株式会社）

加藤 祐樹（塩野義製薬株式会社）

Introduction

9:30 - 9:32

S3-1 毒性試験における休業期間や回復性の考え方について

9:32 - 9:52

竹藤 順子（中外製薬株式会社）

S3-2 副腎皮質空胞化病変の回復性の考え方について

9:52 - 10:16

尾原 涼（塩野義製薬株式会社 創薬開発研究所）

S3-3 化学物質により誘発される齧歯類の肺病変における回復性

10:16 - 10:40

Shotaro YAMANO（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）

S3-4 胃粘膜傷害の回復性 - ラットの主細胞傷害時における経日的変化 -

10:40 - 11:04

安野 弘修（武田薬品工業株式会社）

S3-5 低分子抗がん剤により誘発される病変の回復性

11:04 - 11:28

佐山 絢子（第一三共株式会社 安全性研究所）

Conclusion

11:28 - 11:30

■ 生体金属部会シンポジウム：～金属による免疫毒性～

座長：角 大悟（徳島文理大学薬学部薬物治療学）

黄 基旭（東北医科薬科大学 薬学部 環境衛生学教室）

Introduction

9:30 - 9:32

S4-1 チタン酸ナノシートがヒト単球に及ぼす毒性影響 - 細胞内 Ca^{2+} 濃度増加によるリソソーム制御不全を介した細胞死 -

9:32 - 10:01

西村 泰光（川崎医科大学衛生学）

S4-2 微粒子の化学的特性と肺マクロファージの活性化 ～炎症を引き起こす微粒子と引き起こさない微粒子～

10:01 - 10:30

黒田 悦史（兵庫医科大学医学部免疫学講座）

S4-3 マクロファージによるカーボンナノチューブ認識と炎症誘導機構

10:30 - 10:59

中山 勝文（立命館大学薬学部免疫微生物学研究室）

S4-4 ヒ素によるナチュラルキラー細胞の機能障害

10:59 - 11:28

角 大悟（徳島文理大学薬学部薬物治療学）

Conclusion

11:28 - 11:30

■ **医薬品毒性機序研究部会シンポジウム：毒性発現機序 (AOP) の理解とその毒性評価への応用**

座長：吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)
竹村 晃典 (千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)

Introduction

15:30 - 15:32

S5-1 ミトコンドリア膜透過性遷移に起因した肝障害発症機序の理解

15:32 - 16:01

竹村 晃典 (千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)

S5-2 シグナルかく乱作用を基にした *in vitro* 発生毒性試験法の開発とその検出機構の解明に向けて

16:01 - 16:30

大久保 佑亮^{1,2} (¹ 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部, ² 横浜国立大学 先端科学高等研究院)

S5-3 化学物質の甲状腺ホルモンかく乱作用による発達神経毒性の評価：新たな評価法の開発に向けた取り組みの現状

16:30 - 16:59

山田 智也 (住友化学株式会社生物環境科学研究所)

S5-4 ラット発がん性試験の代替法開発：発がん機序に基づくインビトロ試験を活用したリードアクロスの試み

16:59 - 17:28

吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)

Conclusion

17:28 - 17:30

■ **【日本中毒学会合同シンポジウム】トキシドロームと分子毒性学的新知見**

座長：北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)
杉田 学 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

S6-1 虚血再灌流後の MRP1 依存的なグルタチオンの細胞外放出が筋細胞のフェロトキシスを誘導する

13:30 - 14:00

勝俣 良紀 (慶應義塾大学医学部)

S6-2 フグ毒テトロドトキシンを単回経口投与した際のマウス肝及び海馬 Percellome トキシコゲノミクス

14:00 - 14:25

北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

S6-3 急性中毒診療におけるトキシドロームについて

14:25 - 14:50

小林 憲太郎 (国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 救急科)

S6-4 化学テロのトキシドロームについて

14:50 - 15:15

早川 桂 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科)

総合討論

15:15 - 15:30

■ 環境要因によるエピジェネティック制御

座長：伊藤 昭博 (東京薬科大学生命科学部)

服部 奈緒子 (群馬大学生体調節研究所)

Introduction

15:30 - 15:35

伊藤 昭博 (東京薬科大学生命科学部)

S7-1 エピゲノム制御の可塑性

15:35 - 15:57

眞貝 洋一 (理化学研究所開拓研究本部)

S7-2 環境要因による正常組織エコシステムのエピゲノム変化と発がんへの影響

15:57 - 16:19

服部 奈緒子^{1,2} (¹星薬科大学先端生命科学研究所エピゲノム創薬研究室, ²群馬大学生体調節研究所)

S7-3 父親の環境ストレスによる経世代エピジェネティック遺伝

16:19 - 16:41

吉田 圭介 (日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学分野)

S7-4 妊娠期ヒ素曝露による次世代精子の DNA メチル化変化

16:41 - 17:03

鈴木 武博 (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)

S7-5 ヒトの早期環境要因とエピゲノム変化の関連

17:03 - 17:25

河合 智子 (国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部)

Conclusion

17:25 - 17:30

服部 奈緒子 (群馬大学生体調節研究所)

■ 日韓合同シンポジウム：オルガネラ毒性と代謝疾患

座長：西田 基宏 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)

Sang Geon KIM (College of Pharmacy, Dongguk University)

Introduction

13:30 - 13:32

S8-1 Navigating drug-targetome-phenotype interaction and their translational implications

13:32 - 14:02

HoJeong KWON (Chemical Genomics Leader Research Lab, Department of Biotechnology, Yonsei University)

S8-2 Roles of G α 12 and NEMO in toxicant-induced ferroptosis

14:02 - 14:32

Sang Geon KIM (College of Pharmacy, Dongguk University)

S8-3 Cereblon-induced endoplasmic reticulum stress in diabetic cardiomyopathy

14:32 - 15:02

Jin HAN (Cardiovascular and Metabolic Disease Center, College of Medicine, Inje University)

S8-4 全身性の糖代謝異常への Drp1-filamin 複合体形成の関与

15:02 - 15:28

Yuri KATO (Department of Physiology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University)

Conclusion

15:28 - 15:30

■ **[KSOT-JSOT 合同シンポジウム] PFAS 問題の動向と最新の知見**

座長：黄 基旭 (東北医科薬科大学 薬学部 環境衛生学教室)

Hyung Sik KIM (Division of Toxicology, School of Pharmacy, Sungkyunkwan University)

Introduction

15:30 - 15:32

S9-1 発達期ゼブラフィッシュをモデルとした PFAS の生体影響評価と毒性発現機構

15:32 - 16:01

久保田 彰^{1,2,3}(¹帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター,²帯広畜産大学 獣医学研究部門,³帯広畜産大学 動物・食品検査診断センター)**S9-2 PFAS の健康リスク**

16:01 - 16:30

Shoji F NAKAYAMA (国立環境研究所エコチル調査コアセンター)

S9-3 Occurrence and Human Exposure of Perfluoroalkyl Substances in South Korea

16:30 - 16:59

Jeong Eun OH (Dept of Environmental Engineering, Pusan National University)

S9-4 Nephrotoxicity mechanism of perfluorinated compounds PFOA and PFOS in rats

16:59 - 17:28

Hyung Sik KIM (Division of Toxicology, School of Pharmacy, Sungkyunkwan University)

Conclusion

17:28 - 17:30

■ **多様な酸化・毒物ストレスに対する新たな生体応答システム**

座長：松沢 厚 (東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野)

有澤 琴子 (東北大学大学院薬学研究科 代謝制御薬学分野)

Introduction

13:30 - 13:32

松沢 厚 (東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野)

S10-1 PRL/CNNM による細胞内マグネシウム調節と活性酸素産生

13:32 - 14:01

三木 裕明 (京都大学大学院工学研究科)

S10-2 セレノプロテインP による細胞内セレン代謝変動を介したフェロトーシス制御機構

14:01 - 14:30

有澤 琴子 (東北大学大学院薬学研究科 代謝制御薬学分野)

S10-3 多様な翻訳後修飾のバランスによる新たな酸化ストレス誘導性細胞死パータナトスの制御機構と疾患

14:30 - 14:59

松沢 厚 (東北大学 大学院薬学研究科 衛生化学分野)

S10-4 毒性化合物における脂質酸化依存的な新規細胞死リポキトーシスのメカニズムの解析

14:59 - 15:28

今井 浩孝 (北里大学薬学部)

Conclusion

15:28 - 15:30

有澤 琴子 (東北大学大学院薬学研究科 代謝制御薬学分野)

免疫毒性学から見たワクチン学

座長：吉岡 靖雄 (大阪大学微生物病研究所)

三隅 将吾 (熊本大学大学院生命科学研究部附属 グローバル天然物科学研究センター 環境分子保健学分野)

Introduction

13:30 - 13:33

吉岡 靖雄 (大阪大学微生物病研究所)

S11-1 ワクチン接種後の副反応・有害事象に関する疫学研究

13:33 - 14:00

福島 若葉 (大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

S11-2 副反応の低減した mRNA-LNP ワクチンの開発に向けて

14:00 - 14:17

吉岡 靖雄^{1,2,3,4,5,6,7} (¹大阪大学微生物病研究所, ²大阪大学先導的学際研究機構, ³大阪大学大学院薬学研究科, ⁴大阪大学ワクチン開発拠点 先端モダリティ・DDS 研究センター, ⁵大阪大学感染症総合教育研究拠点, ⁶大阪大学国際医工情報センター, ⁷一般財団法人阪大微生物病研究会)

S11-3 新規ワクチンの免疫原性・反応原性の理解に向けた免疫プロファイリング研究

14:17 - 14:44

高橋 宜聖 (国立感染症研究所治療薬・ワクチン開発研究センター)

S11-4 不活化インフルエンザ全粒子ワクチンの細胞外小胞の役割と副反応制御

14:44 - 15:01

三隅 将吾 (熊本大学大学院生命科学研究部附属 グローバル天然物科学研究センター 環境分子保健学分野)

S11-5 ワクチンアジュバントの免疫毒性と有効性を切り分けるサイエンスとデザイン

15:01 - 15:28

石井 健 (東京大学医学研究所ワクチン科学分野)

Conclusion

15:28 - 15:30

三隅 将吾 (熊本大学大学院生命科学研究部附属 グローバル天然物科学研究センター 環境分子保健学分野)

産業薬剤師の可能性

座長：曾根 秀子 (横浜薬科大学大学院薬学研究科ヘルスサイエンス専攻)

木村 優介 (自治医科大学医学部環境予防医学講座)

Introduction

15:30 - 15:31

S12-1 産業薬剤師の可能性

15:31 - 15:36

市原 学 (東京理科大学)

S12-2 産業現場における化学物質の自律的管理

15:36 - 15:56

伊藤 昭好 (労働安全衛生総合研究所)

S12-3 企業における産業薬剤師の役割

15:56 - 16:16

和久 純也 (パナソニック健康保険組合 産業衛生科学センター)

S12-4 地域における化学物質管理の要としての保険薬局薬剤師

16:16 - 16:31

有村 洋一 (株式会社マトリックス シルキー薬局)

S12-5 薬学教育における労働衛生と産業薬剤師への関心

16:31 - 16:46

長嶋 大地^{1,2} (¹横浜薬科大学薬学部臨床薬剤学研究室, ²横浜薬科大学総合健康メディカル研究センター)

指定討論

16:46 - 16:56

山野 優子 (昭和大学医学部衛生学公衆衛生学)

総合討論

16:56 - 17:29

Conclusion

17:29 - 17:30

シンポジウム 13

7月4日(木) 9:00 - 11:30 第3会場

人工知能 (AI) と生命医学と毒性学

座長：萩原 正敏 (京都大学大学院医学研究科創薬医学講座)

菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

Introduction

9:00 - 9:03

S13-1 Impact of Artificial Intelligence and Automated Robotics Experimental Systems for Biomedical Sciences

9:03 - 9:38

Hiroaki KITANO (Okinawa Institute of Science and Technology Graduate School, The Systems Biology Institute)

S13-2 AI × ゲノム × スプライシング制御薬 = 先制医療

9:38 - 10:13

萩原 正敏 (京都大学大学院医学研究科創薬医学講座)

S13-3 AI との協業としての生命医学・毒性学

10:13 - 10:48

夏目 やよい^{1,2} (¹ 医薬基盤・健康・栄養研究所, ² 徳島大学)**S13-4 ToxEye: トキシコゲノミクス・データのための *In visio* モデル**

10:48 - 11:23

Samik GHOSH (システム・バイオロジー研究機構)

Conclusion

11:23 - 11:30

次世代研究セミナー：生体組織を体外で再現する — 機能の理解とその応用に向けて —

座長：山本 千夏 (東邦大学)

宮内 慎 (株式会社ファイントゥデイ 基礎・基盤研究部)

Introduction

9:00 - 9:06

S14-1 神経オルガノイドをつないで神経回路をつくる

9:06 - 9:42

池内 与志穂 (東京大学生産技術研究所)

S14-2 マイクロ細胞培養デバイスを用いた血管モデルの構築

9:42 - 10:18

佐藤 香枝 (日本女子大学理学部化学生命科学科)

S14-3 iPS 細胞を用いたヒト由来呼吸器組織の再現を目指して

10:18 - 10:54

後藤 慎平 (京都大学 iPS 細胞研究所)

Conclusion

10:54 - 11:00

鳥の鉛中毒：国内で「今」起きている健康被害

座長：石塚 真由美 (北海道大学獣医学研究院)

佐藤 雅彦 (愛知学院大学薬学部衛生薬学講座)

S15-1 鳥類の鉛中毒とは

9:00 - 9:10

石塚 真由美 (北海道大学獣医学研究院)

S15-2 日本における野生水鳥を中心とした鳥類の鉛汚染状況の把握

9:10 - 9:45

近藤 充希 (国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室)

S15-3 狩猟統計データを活用した本州に分布する猛禽類の鉛曝露リスク評価

9:45 - 10:20

大沼 学 (国立研究開発法人国立環境研究所生物多様性領域)

S15-4 鳥類の鉛毒性の特徴と種差

10:20 - 10:55

中山 翔太^{1,2} (¹北海道大学大学院獣医学研究院毒性学教室, ²ザンビア大学獣医学部)

S15-5 野生鳥類における鉛中毒の何が問題か？ ～希少猛禽類と水鳥を中心に～

10:55 - 11:30

齊藤 慶輔 (猛禽類医学研究所)

■ **核酸医薬品開発における安全性評価の課題と取り組み**

座長：木村 真弥 (武田薬品工業株式会社)
 永山 裕子 (エーザイ株式会社 グローバル安全性研究部)

Introduction

9:00 - 9:05

S16-1 核酸医薬品開発における自然免疫活性化評価の課題と取り組み

9:05 - 9:30
 有賀 千浪 (田辺三菱製薬株式会社)

S16-2 核酸医薬品による in vitro 補体活性化評価系の確立 - 核酸医薬安全性評価コンソーシアム共同研究 -

9:30 - 9:55
 山下 晃人 (アステラス製薬株式会社)

S16-3 核酸医薬品開発における安全性評価の課題 (ビルトラルセンの開発)

9:55 - 10:30
 花田 智彦 (日本新薬株式会社 創薬研究所 安全性研究部)

S16-4 核酸医薬品開発における in vitro/vivo 痙攣評価の予備検討

10:30 - 10:55
 塩谷 元宏 (Global Drug Safety, Eisai Co., Ltd.)

Conclusion

10:55 - 11:00

■ **形に紐付けられる生体情報解析技術**

座長：渋谷 淳 (東京農工大学大学院農学研究院)
 石井 雄二 (国立医薬品食品衛生研究所病理部)

S17-1 安全性研究への質量分析イメージングの応用

15:00 - 15:30
 石井 雄二 (国立医薬品食品衛生研究所病理部)

S17-2 多様化するモダリティ創薬における定量的局所イメージングの重要性

15:30 - 16:00
 追立 真孝 (第一三共株式会社薬物動態研究所)

S17-3 FFPE 組織を病態解明に活かすためのプロテオーム解析技術

16:00 - 16:30
 村上 智亮 (東京農工大学獣医毒理学研究室)

S17-4 ミクロ組織を踏まえた高解像度かつ高深度空間トランスクリプトーム技術

16:30 - 17:00
 本田 瑞季^{1,2} (¹広島大学 大学院統合生命科学研究所, ²京都大学大学院 医学研究科)

腸管毒性を考える

座長：小野寺 博志 (国立医薬品食品衛生研究所)

坂口 泰子 (協和キリン株式会社)

Introduction

15:00 - 15:05

S18-1 ADMET 研究における小腸機能とそれを模倣する microphysiological system(MPS) の開発

15:05 - 15:28

楠原 洋之 (東京大学大学院薬学系研究科)

S18-2 消化管毒性発現の種差、部位差、発達／加齢による影響

15:28 - 15:51

今岡 尚子 (第一三共株式会社 安全性研究所)

S18-3 臨床における消化管副作用は非臨床毒性試験で予測できるのか？

15:51 - 16:14

小林 章男 (国際医療福祉大学 薬学部 環境衛生学分野)

S18-4 疫学データに基づいた臨床消化管毒性

16:14 - 16:37

伊熊 陸博 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第一部)

S18-5 臨床開発の効率化・加速に向けた in vitro ヒト腸管モデル系の開発

16:37 - 17:00

水口 裕之^{1,2,3,4,5} (¹大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野, ²国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所, ³大阪大学先端学際研究機構, ⁴大阪大学国際医工情報センター, ⁵大阪大学感染症総合教育研究拠点)

体内時計の変調がもたらす健康障害と疾患：メカニズムの理解と予防策の構築に向けて

座長：小柳 悟 (九州大学薬学研究院薬剤学分野)

牛島 健太郎 (山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 薬剤学・製剤学分野)

S19-1 概日時計分子の機能変調による細胞のがん化・薬剤耐性獲得の分子機構

15:00 - 15:30

小柳 悟 (九州大学薬学研究院薬剤学分野)

S19-2 概日時計変調によるアレルギー疾患の増悪と予防戦略

15:30 - 16:00

中村 勇規 (山梨大学大学院総合研究部医学城免疫学講座)

S19-3 光環境のかく乱による概日時計および代謝機能の性依存的な変調

16:00 - 16:30

安尾 しのぶ (九州大学大学院農学研究院)

S19-4 体内時計障害から探索する変形性関節症のバイオマーカー

16:30 - 17:00

牛島 健太郎^{1,2} (¹山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 薬剤学・製剤学分野, ²自治医科大学医学部臨床薬理学部門)

■ 毒性学におけるメタロミクスの最先端 一産官学連携による新展開一

座長：田中 佑樹 (千葉大学大学院 薬学研究院)
岩井 美幸 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

Introduction

15:00 - 15:02

S20-1 フィールドフローフラクシオネーション ICP 質量分析計によるナノマテリアル計測法
開発と毒性学分野への応用

15:31 - 15:31

田中 佑樹 (千葉大学大学院 薬学研究院)

S20-2 メタロミクス研究における機器分析 - ICP 質量分析法を中心として

15:31 - 16:00

小林 恭子 (PerkinElmer Japan 合同会社)

S20-3 生体試料中の元素情報を多角的に分析できる LA-ICP-MS の原理と技術紹介

16:00 - 16:29

黒木 康生 (サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社エレメンタル事業部アプリケーション部)

S20-4 疫学調査から考える産官学連携：メタロミクス研究の動向

16:29 - 16:58

岩井 美幸 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

Conclusion

16:58 - 17:00

■ データサイエンスが拓く薬物毒性学の新たな未来

座長：金子 周司 (京都大学医学研究科ビッグデータ医科学分野)
座間味 義人 (岡山大学病院 薬剤部)

オープニングリマークス

15:00 - 15:04

S21-1 ビッグデータの活用による医薬品評価の高度化

15:04 - 15:32

諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)

S21-2 深層学習を用いた薬理作用の定量的予測とヒト臨床ビッグデータへの応用

15:32 - 16:00

永安 一樹 (京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野)

S21-3 診療情報・遺伝子情報データベースを活用した薬物毒性評価

16:00 - 16:28

濱野 裕章 (岡山大学病院薬剤部)

S21-4 医療系データベースを利用した医薬品の安全性評価

16:28 - 16:56

田中 佐智子 (神戸薬科大学疾病予防学研究室)

クロージングリマークス

16:56 - 17:00

■ 新薬開発における薬剤性痙攣の評価 ―非臨床における痙攣リスク評価の強化―

座長：塩谷 元宏 (エーザイ株式会社グローバル安全性研究部)

白川 蒼史 (アステラス製薬株式会社 非臨床レギュラトリサイエンス)

S22-1 イントロダクション：新薬開発における薬剤性けいれんの評価

15:00 - 15:12

塩谷 元宏 (エーザイ株式会社グローバル安全性研究部)

S22-2 In vivo 痙攣リスクを予測する in vitro MEA 試験構築の試み

15:12 - 15:39

宮本 憲優^{1,2} (¹エーザイ株式会社 バイオフィーマシューティカル・アセスメントユニット 高度バイオンシグナル安全性評価部, ²筑波大学 医学医療系 分子創薬学)

S22-3 ラット脳波からの薬剤性痙攣予測

15:39 - 16:06

木下 健一 (アステラス製薬株式会社 プロテインデグラゲーター)

S22-4 ヒト iPS 由来神経細胞およびアストロサイトをを用いた in vitro 痙攣毒性予測と作用機序予測

16:06 - 16:33

鈴木 郁郎 (東北工業大学大学院工学研究科)

S22-5 臨床現場におけるけいれん (薬物が原因のけいれん) のご紹介

16:33 - 17:00

松本 理器 (神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学分野)

■ 子供の毒性学：高次脳機能の周産期化学物質曝露による修飾のメカニズムに関する研究成果と、ヒトの子供で報告される高次脳機能変化との生物学的関連性

座長：菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

種村 健太郎 (東北大学大学院農学研究科動物生殖科学分野)

オープニングリマックス

10:00 - 10:02

菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

S23-1 イントロダクション

10:02 - 10:07

菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

S23-2 胎生期の逆転写酵素阻害曝露による脳発達異常のメカニズム

10:07 - 10:32

中島 欽一 (九州大学大学院 医学研究院)

S23-3 神経細胞の段階的発達と AUTS2 症候群

10:32 - 10:57

星野 幹雄 (国立精神神経医療研究センター神経研究所)

S23-4 胎生期 PFASs 曝露は神経発達の遅延のリスクおよび神経発達症発症のリスクを高めるか？

10:57 - 11:22

土屋 賢治^{1,2} (¹浜松医科大学子どもこころの発達研究センター, ²大阪大学大学院連合小児発達学研究科)

S23-5 発達期トスフロキサシン投与による成長影響と成熟後の神経行動様式

11:22 - 11:47

種村 健太郎 (東北大学大学院農学研究科動物生殖科学分野)

総合討論

11:47 - 11:57

クロージングリマックス

11:57 - 12:00

菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

■ 機器分析で生理活性物質・環境化学物質の作用機序を解き明かせ

座長：堂前 直 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

柴田 貴広 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

S24-1 プロテオミクスによる生理活性物質・環境化学物質の生体への影響の分析

9:00 - 9:30

堂前 直 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)

S24-2 DIA-MSによる超深度プロテオミクス

9:30 - 10:00

川島 祐介 (かずさDNA研究所)

S24-3 質量分析を利用したタンパク質アダクトームの解析

10:00 - 10:30

柴田 貴広^{1,2,3} (¹名古屋大学大学院生命農学研究科, ²名古屋大学未来社会創造機構ナノライフシステム研究所, ³名古屋大学糖鎖生命コア研究所)

S24-4 超硫黄 supersulfidomics で迫る感染・炎症制御

10:30 - 11:00

澤 智裕 (熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

■ [SOT-JSOT 合同シンポジウム] NAMs and Risk Assessment

座長：広瀬 明彦 ((一財)化学物質評価研究機構)

Introduction

9:00 - 9:05

広瀬 明彦 ((一財)化学物質評価研究機構)

S25-1 化学物質のリスク評価における規制当局の判断を支援するための *in silico* アプローチの開発と今後の課題

9:05 - 9:40

山田 隆志 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部)

S25-2 [ビデオ講演] Using NAMs to inform mode of action and human relevance in chemical safety assessment: A case-study involving PFAS

9:40 - 10:15

Laurie C. HAWS (ToxStrategies LLC)

S25-3 食品安全評価における New Approach Methodologies (NAMs) の課題と展望

10:15 - 10:50

小野 敦 (岡山大学学術研究院・医歯薬学域・薬学系・毒性学研究室)

S25-4 Learning by Doing: Gaining confidence in new approaches for regulatory decision-making and risk assessment

10:50 - 11:25

Kristie M. SULLIVAN (Institute for In Vitro Sciences)

Conclusion

11:25 - 11:30

広瀬 明彦 ((一財)化学物質評価研究機構)

■ 神経・グリアクロストークが織りなす神経病態

座長：浅沼 幹人 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学)
 繁富 英治 (山梨大学大学院総合研究部医学域山梨 GLIA センター)

オーバービュー

9:00 - 9:10 繁富 英治 (山梨大学大学院総合研究部医学域山梨 GLIA センター)

S26-1 反応性アストロサイト由来興奮性分子を介した神経過興奮

9:10 - 9:35 繁富 英治^{1,2} (¹山梨大学大学院総合研究部医学域山梨 GLIA センター, ²山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学講座)

S26-2 ミクログリアから見た神経損傷による痛みの慢性化機序

9:35 - 10:00 津田 誠 (九州大学大学院薬学研究院薬理学分野)

S26-3 活性化ミクログリアの表現型制御作用を介したオキシトシンの脳卒中後遺症治療薬としての可能性

10:00 - 10:25 東 洋一郎 (高知大学医学部薬理学講座)

S26-4 パーキンソン病における神経グリア連関

10:25 - 10:50 宮崎 育子 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学)

Conclusion

10:50 - 10:55 浅沼 幹人 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学)
 繁富 英治 (山梨大学大学院総合研究部医学域山梨 GLIA センター)

■ Microphysiological systems の行政・産業への受入れの現状と課題

座長：奈良岡 準 (アステラス製薬株式会社)
 佐藤 薫 (国立医薬品食品衛生研究所)

S27-1 Microphysiological systems の行政への受入れの現状と課題

9:00 - 9:30 石田 誠一^{1,2} (¹崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻, ²国立医薬品食品衛生研究所)

S27-2 集中研究拠点における MPS 研究～あたりまえの技術を目指して～

9:30 - 10:00 伊藤 弓弦 (筑波大学生命環境系)

S27-3 MPS を用いた薬物性肝障害 (DILI) 予測の改善とフレームワークの紹介

10:00 - 10:30 久田 春香 (富士フィルム和光純薬株式会社)

S27-4 CRO における Microphysiological systems の活用について

10:30 - 11:00 諏訪 喜昭^{1,2} (¹株式会社新日本科学, ²筑波大学生命環境系)

■ 付加体科学部会シンポジウム: Unity in diversity: 付加体がつなく毒性学

座長: 田口 恵子 (東京大学大学院農学生命科学研究科食糧化学研究室)

安孫子 ユミ (長崎大学医歯薬総合研究科)

Introduction

9:00 - 9:03

S28-1 環境中化学物質曝露によるタンパク質との付加体生成を介したレドックスシグナル伝達活性化

9:03 - 9:26

安孫子 ユミ (長崎大学医歯薬総合研究科)

S28-2 セレノプロテイン P への付加体形成を介したセレン代謝リモデリング

9:26 - 9:49

外山 喬士 (東北大学大学院薬学研究所代謝制御薬学分野)

S28-3 タンパク質 S- ニトロシル化が関与するシナプス障害と神経変性疾患

9:49 - 10:12

中村 智尋 (The Scripps Research Institute)

S28-4 食品成分で引き起こされる翻訳後修飾

10:12 - 10:35

則次 恒太 (東京薬科大学生命科学部)

S28-5 KEAP1-NRF2 システムにおける付加体形成

10:35 - 10:58

田口 恵子 (東京大学大学院農学生命科学研究科食糧化学研究室)

Conclusion

10:58 - 11:00

■ 毒性研究者による PDE/OEL 算出—医薬品の品質管理と労働者の安全性担保のために—

座長: 朝倉 省二 (エーザイ株式会社グローバル安全性研究部)

橋本 清弘 (武田薬品工業(株)リサーチ薬剤安全性研究所)

Introduction

9:00 - 9:02

S29-1 製薬産業における PDE・OEL の必要性

9:02 - 9:25

石塚 由佳子 (日本エヌ・ユー・エス株式会社)

S29-2 製薬産業における PDE・OEL の使われ方

9:25 - 9:48

長谷川 知之 (小野薬品工業株式会社 サステナビリティ推進部 EHS 推進室)

S29-3 製薬企業における PDE/OEL 設定

9:48 - 10:11

黒岡 貴生 (EA ファーマ株式会社)

S29-4 毒性情報が不足している場合の PDE・OEL 設定

10:11 - 10:34

林 多恵 (一般財団法人 化学物質評価研究機構)

S29-5 変異原性発がん物質の AI/OEL 算出における考慮点

10:34 - 10:57

橋本 清弘 (武田薬品工業(株)リサーチ薬剤安全性研究所)

Conclusion

10:57 - 11:00

■ 個人差を反映した医薬品評価の現状と今後の展望

座長：諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)
佐藤 洋美 (千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学)

Introduction

1400 - 1402 諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)

S30-1 クリアランス分類に基づく誤差構造の分離と薬物動態の個別化予測

1402 - 1431 佐藤 洋美 (千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学)

S30-2 医薬品の特異体質性重篤副作用における遺伝的要因について

1431 - 1500 中村 亮介^{1,2} (¹国立医薬品食品衛生研究所, ²帝京大学薬学部)

S30-3 性別を考慮した医薬品の毒性評価

1500 - 1529 黒川 洵子 (静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学分野)

S30-4 小児心不全治療薬の開発に向けた有効性と安全性の非臨床評価

1529 - 1558 川岸 裕幸^{1,2} (¹国立医薬品食品衛生研究所, ²信州大学)

S30-5 副作用メカニズムに基づく個人差予測

1558 - 1627 諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)

Conclusion

1627 - 1630 佐藤 洋美 (千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学)

■ 短寿命活性種の毒性と機能性

座長：中島 史恵 (名古屋大学大学院生命農学研究科)
山田 健一 (九州大学大学院薬学研究院分子病態解析学)

S31-1 酸化の変換を受けて発揮される食品の機能性

1400 - 1430 中島 史恵 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

S31-2 超硫黄分子オミクス解析による機能性食品成分の探索

1430 - 1500 笠松 真吾 (大阪公立大学大学院理学研究科生物化学専攻)

S31-3 Exploring novel oxidized phospholipids to elucidate an exhaustive understanding of their functions

1500 - 1530 Mirinthorn JUTANOM (Department of Molecular Pathobiology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University)

S31-4 Role of Nrf2 in Cellular Adaptive Response to Reactive Oxygen/Nitrogen Species and Electrophilic Toxicants: Pros and Cons

1530 - 1600 Young-Joon SURH (College of Pharmacy, Seoul National University)

トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム：安全性研究における技術継承とキャリア形成

座長：吉成 浩一（静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野）
天野 幸紀（一般社団法人日本毒性学会 学術小委員会、興和デンタルヘルス株式会社）

Introduction

1400 - 1403

S32-1 製薬企業における技術継承とキャリア形成への取り組み

1403 - 1423

土屋 由美（第一三共（株）安全性研究所）

S32-2 農薬メーカーにおける安全性評価人材の育成～現状と課題

1423 - 1443

竹内 和也（日産化学株式会社 生物科学研究所 安全性研究部）

S32-3 CROにおける毒性研究者の教育・育成への取り組み

1443 - 1503

角崎 英志（株式会社新日本科学）

S32-4 Partner Research Organization (PRO) における安全性評価教育の現状及び今後の課題

1503 - 1523

古川 義之（Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社）

総合討論

1523 - 1558

Conclusion

1558 - 1600

医薬品の環境リスク評価の現状と将来展望

座長：山田 隆志（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部）
広瀬 明彦（（一財）化学物質評価研究機構）

はじめに

1400 - 1405

S33-1 医薬品の環境リスクと我が国の新規承認申請医薬品の環境影響評価に関するガイダンス

1405 - 1428

西村 哲治（帝京平成大学）

S33-2 日本の水環境中の 111 医薬品の存在実態の調査

1428 - 1451

小林 憲弘（国立医薬品食品衛生研究所）

S33-3 医薬品を含む化学物質の生態毒性試験と生態リスク評価

1451 - 1514

山本 裕史^{1,2}（¹国立環境研究所環境リスク・健康領域、²東京大学大学院創成科学研究科）

S33-4 医薬品の生態毒性評価を支援するデータベースと *in silico* 予測手法の開発

1514 - 1537

山田 隆志（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部）

S33-5 医薬品環境リスク評価に関する製薬業界の取り組みー遺伝子治療製品等の新しいモダリティにおける評価

1537 - 1600

佐藤 恵一朗（エディットフォース株式会社）

■ がん化学療法剤による末梢神経障害：メカニズムと予防・治療法

座長：津田 誠（九州大学大学院薬学研究院薬理学分野）

Introduction

1500 - 1503

S34-1 シュワン細胞に着目した抗がん剤誘発末梢神経障害の発症機序解明と新規感覚神経オルガノイドを用いた研究の試み

1503 - 1531

今井 哲司（和歌山県立医科大学薬学部医療開発薬学研究室）

S34-2 オキサリプラチン誘発末梢神経障害の回避のためのドラッグリポジショニング研究

1531 - 1559

川尻 雄大（九州大学大学院薬学研究院臨床薬学分野）

S34-3 化学療法誘発性末梢神経障害の発症メカニズムとリスク因子の解析

1559 - 1627

川畑 篤史（近畿大学薬学部病態薬理学研究室）

Conclusion

1627 - 1630

■ 先進的 in vitro model を用いた初期毒性評価戦略

座長：篠澤 忠紘（武田薬品工業）

浜村 えり（第一三共株式会社 安全性研究所）

S35-1 初期毒性評価における現状と課題

1500 - 1505

奈良岡 準（アステラス製薬株式会社 非臨床バイオメディカルサイエンス）

S35-2 非臨床安全性評価における Microphysiological system の利用戦略と事例の紹介

1505 - 1525

渡辺 雄大（アステラス製薬株式会社）

S35-3 安全性評価における Microphysiological system の現実と理想のギャップ

1525 - 1545

原田 幸祐（武田薬品工業リサーチ薬剤安全性研究所）

S35-4 ヒト腸管オルガノイドおよび画像解析を利用した消化管毒性評価法

1545 - 1605

須藤 優喜（中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部）

S35-5 効率的な毒性理解・回避低減のための複雑系 / 単純系 in vitro 評価モデルの選択

1605 - 1625

浜村 えり（第一三共株式会社 安全性研究所）

ワークショップ

ワークショップ 1

7月3日(水) 9:30 - 11:30 第3会場

■ ニューモダリティ医薬品にユニークな新たな開発戦略

座長：森山 智之 (エーザイ株式会社 グローバル安全性研究部)
高井 有一 (武田薬品工業株式会社 薬剤安全性研究所)

Introduction

9:30 - 9:33

W1-1 休業の概念がない創薬モダリティにおけるアンチドートについて動向調査

9:33 - 9:58

森山 智之^{1,2} (¹日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 革新的医薬品・医療技術課題対応チーム, ²エーザイ株式会社 グローバル安全性研究部)

W1-2 【ビデオ講演】 Protein Degraders in Drug Development: A Safety Perspective

9:58 - 10:18

Katie STAMP (Nonclinical Safety Sciences, Bristol Myers Squibb)

W1-3 革新的な技術を搭載した抗体医薬品の非臨床免疫毒性・免疫原性評価

10:18 - 10:43

久保 千代美 (中外製薬株式会社)

W1-4 ニューモダリティの非臨床安全性評価に関する PMDA の考え方

10:43 - 11:08

真木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)

総合討論

11:08 - 11:27

Conclusion

11:27 - 11:30

ワークショップ 2

7月3日(水) 13:30 - 15:30 第1会場

■ ヒト試料を用いた医薬品の安全性評価の最前線～臨床副作用の予測性向上を目指して～

座長：南谷 賢一郎 (協和キリン株式会社 安全性研究所)
岩田 良香 (中外製薬株式会社)

Introduction

13:30 - 13:35

南谷 賢一郎 (協和キリン株式会社 安全性研究所)

W2-1 創薬応用を目指したヒト近位尿管上皮細胞の3次元培養スフェロイドモデルの開発

13:35 - 13:57

高橋 越史 (日機装株式会社 インダストリアル事業本部 精密機器技術センター 開発部)

W2-2 ヒト iPS 細胞由来神経細胞を用いた創薬における神経毒性研究

13:57 - 14:19

赤井 翔 (中外製薬株式会社)

W2-3 ヒト血漿を用いた LNP による偽アレルギー反応の in vitro 評価法の現状と課題

14:19 - 14:41

前田 菜摘 (武田薬品工業株式会社 薬剤安全性研究所)

W2-4 臨床予測性向上を目指した in vitro サイトカイン放出評価系及び評価戦略の構築

14:41 - 15:03

平野 莉絵 (協和キリン株式会社 安全性研究所)

W2-5 ヒト試料由来の薬物特異的 T 細胞を用いた獲得免疫型 drug-induced liver injury (DILI) メカニズム研究

15:03 - 15:25

白井 亨 (住友ファーマ株式会社 前臨床研究ユニット)

Conclusion

15:25 - 15:30

岩田 良香 (中外製薬株式会社)

ワークショップ 3

7月3日(水) 15:30 - 17:30 第5会場

安全性評価技術の今昔物語：故きを温ねて新しきを知る

座長：土居 正文 (第一三共株式会社 ヒットディスカバリー基盤研究所 第四グループ)
藤澤 希望 (中外製薬株式会社)

W3-1 イントロダクション：毒性評価技術の変遷

15:30 - 15:42

宮脇 出 (住友ファーマ株式会社 前臨床研究ユニット)

W3-2 創薬応用可能な新規 in vitro 神経毒性評価系の選択肢について

15:42 - 16:09

近藤 卓也 (大鵬薬品工業株式会社 研究本部 前臨床基礎研究所)

W3-3 Error-corrected next generation sequencing (ecNGS) の現状

16:09 - 16:36

鈴木 孝昌 (国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部)

W3-4 胎盤 MPS 研究の現状と生殖発生毒性試験への応用の可能性

16:36 - 17:03

梶 弘和 (東京医科歯科大学生体材料工学研究所診断治療システム医工学分野)

W3-5 毒性回避に構造創薬は貢献できるか？

17:03 - 17:30

藤吉 好則 (東京医科歯科大学高等研究院)

ワークショップ 4

7月4日(木) 9:00 - 11:00 第2会場

臨床検査から正しい情報を得るためには？

座長：本多 久美 (第一三共株式会社 安全性研究所)
田中 直子 (テルモ株式会社)

Introduction

9:00 - 9:02

W4-1 非臨床領域における臨床検査の概論：臨床検査担当者の視点から

9:02 - 9:32

豊田 直人^{1,2} (¹中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部, ²日本臨床化学会 動物臨床化学専門委員会)

W4-2 臨床病理検査をめぐる解釈の違い：委託者側と受託者側との相異点の考察

9:32 - 10:02

佐々木 大祐 (アステラス製薬株式会社)

W4-3 非臨床臨床検査の知の継承：CRO の実際

10:02 - 10:32

川畑 藍香 (株式会社新日本科学)

総合討論

10:32 - 10:57

パネリスト

豊田 直人 (中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部)

佐々木 大祐 (アステラス製薬株式会社)

川畑 藍香 (株式会社新日本科学)

真鍋 由恵 (大鵬薬品工業(株) 前臨床基礎研究所)

まとめ

10:57 - 11:00

ワークショップ 5

7月4日(木) 9:00 - 11:00 第7会場

DX時代の毒性病理 — AI 病理システムと病理ビッグデータへの取組みにおける課題と展望—

座長：猪又 晃 (富士フイルム富山化学株式会社)

太田 恵津子 (エーザイ株式会社グローバル安全性研究部)

オープニングリマックス

9:00 - 9:02

W5-1 画像認識モデルによる病理組織学的検査の自動化検討

9:02 - 9:27

白井 真人 (第一三共株式会社 安全性研究所)

W5-2 ライフインテリジェンスコンソーシアム (LINC) における AI 駆動型画像解析/病理診断ツールの開発について

9:27 - 9:42

加藤 祐樹 (塩野義製薬株式会社)

W5-3 画像解析技術者からみた毒性病理 AI 開発における課題

9:42 - 9:57

根岸 充 (富士フイルム株式会社 イメージング&インフォマティクスラボ)

W5-4 デジタルパソロジー・AI 病理モデル作成 / 実装の実際

9:57 - 10:12

山崎 雅輝 (中外製薬株式会社 TR 本部 安全性バイオサイエンス研究部)

W5-5 毒性病理学のデジタル化:ヨーロッパのBIGPICTURE プロジェクト及びベーリンガーインゲルハイムにおける GLP デジタル鏡検の取組み

10:12 - 10:27

寒川 祐見 (日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)

W5-6 H&E 染色画像から空間的遺伝子発現量を予測する深層学習法とその活用戦略

10:27 - 10:42

小井土 大 (東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻)

総合討論

10:42 - 10:57

クロージングリマックス

10:57 - 11:00

若手企画ワークショップ

若手企画ワークショップ 1

7月3日(水) 14:30 - 16:00 第2会場

■ 子育て世代の研究者の働き方を考える

座長：横田 理 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター毒性部)

藤代 瞳 (徳島文理大学薬学部)

Y1-1 若手企画委員設立趣旨説明

14:30 - 14:35

上原 孝 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)

Y1-2 キャリアパスアンケート結果の機械学習分析

14:35 - 14:50

武田 一貴 (北里大学獣医学部毒性学研究室)

Y1-3 キャリアパスケーススタディ (経験談) アカデミア

14:50 - 15:00

岩井 美幸 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

Y1-4 キャリアパスケーススタディ (経験談) アカデミア

15:00 - 15:10

横田 理 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター毒性部)

Y1-5 キャリアパスケーススタディ (経験談) 民間企業

15:10 - 15:20

吉沢 佑基 (住友ファーマ株式会社)

Y1-6 キャリアパスケーススタディ (経験談) 民間企業

15:20 - 15:30

田中 直子 (テルモ株式会社)

Y1-7 AMEDによる医療研究開発におけるダイバーシティ推進：資金配分機関としての取組

15:30 - 15:45

勝井 恵子 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED))

総合討論

15:45 - 16:00

若手企画ワークショップ 2

7月3日(水) 16:00 - 17:30 第2会場

■ ミライの毒性学 明日から役立つ最先端技術

座長：齋藤 文代 (岡山理科大学獣医学部獣医学科毒性学)

武田 一貴 (北里大学獣医学部毒性学研究室)

Introduction

16:00 - 16:05

武田 一貴 (北里大学獣医学部毒性学研究室)

Y2-1 AI/ 機械学習 in 毒性学 ～化学物質の毒性予測モデル開発～

16:05 - 16:17

安部 賀央里 (名古屋市立大学 大学院薬学研究所 レギュラトリーサイエンス分野)

Y2-2 オルガノイド培養を用いた薬物動態・毒性評価の新展開

16:17 - 16:29

荒川 大 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

Y2-3 香り物質 in 毒性学～香り物質のダイレクトな脳への作用解明～

16:29 - 16:41

大黒 亜美 (広島大学 大学院医系科学研究科)

Y2-4 腸内細菌 in 毒性学 ～付加体科学を基軸とした新展開～

16:41 - 16:53

秋山 雅博 (昭和大学臨床薬理研究所)

Y2-5 液液相分離 in 毒性学 ～ in vitro 実験からのアプローチ～

16:53 - 17:05

渡邊 千穂 (広島大学大学院統合生命科学研究所)

ブースセッション

17:05 - 17:30

受賞者講演

受賞者講演

7月4日(木) 15:00 - 17:05 第1会場

■ 特別賞

座長：上原 孝 (岡山大学学術研究院医歯薬学域)

AWL1 睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装まで

柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IHIS))

■ 学会賞

座長：北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

AWL2 化学物質のリスク評価に向けた肝毒性発現機序研究

吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部)

■ 佐藤哲男賞

座長：小椋 康光 (千葉大学大学院薬学研究院)

AWL3 国際化進展を鑑みた学術および学会活動

熊谷 嘉人 (九州大学大学院薬学研究院)

■ 奨励賞 1

座長：石井 祐次 (九州大学大学院薬学研究院)

AWL4 多様なメカニズムによる酸化ストレスの惹起：メイラード反応産物による細胞障害と薬物代謝酵素シトクロム P450 の機能抑制

宮内 優 (崇城大学薬学部)

■ 奨励賞 2

座長：永瀬 久光 (岐阜医療科学大学 薬学部)

AWL5 医薬品曝露によって生じる口蓋裂発症とマイクロ RNA 発現変動に関する研究

吉岡 弘毅 (岐阜医療科学大学薬学部)

■ 奨励賞 3

座長：土屋 由美 (第一三共(株) 安全性研究所)

AWL6 Mas-related G-protein coupled receptor X2 を介する薬剤誘発性 IgE 非依存性アレルギー様反応の感受性差に関する研究

浜村 えり (第一三共株式会社 安全性研究所)

田邊賞受賞論文と受賞者 Tanabe Award

論文: Construction of extended and functional bile canaliculi using long-term sandwich-cultured cryopreserved human hepatocytes and the application of hepatocytes for predicting the biliary excretion of pharmaceutical and food-related compounds

Takashi Kitaguchi, Shinichiro Horiuchi, Yukie Kuroda, Katsutoshi Ohno, Kazuhiro Kobayashi, Mitsuru Tanaka, Seiichi Ishida

J. Toxicol. Sci., Vol. 48, No. 5, 251-261, 2023

受賞者: 北口 隆 (日清食品ホールディングス株式会社 グローバル食品安全研究所)
黒田 幸恵 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)
大野 克利 (日清食品ホールディングス株式会社 グローバル食品安全研究所)
石田 誠一 (崇城大学大学院 工学研究科)

論文: Human gut microbiota influences drug-metabolizing enzyme hepatic Cyp3a: A human flora-associated mice study

Masao Togao, Takashi Kurakawa, Shinnosuke Tajima, Gaku Wagai, Yuki Ohta-Takada, Jun Otsuka, Akinobu Kurita, Koji Kawakami

J. Toxicol. Sci., Vol. 48, No. 6, 333-343, 2023

受賞者: 梶尾 正雄 (ヤクルト本社中央研究所)

論文: Preclinical *in vitro* evaluation of immune suppression induced by GYM329, Fc-engineered sweeping antibody

Yoshika Iwata, Hitoshi Katada, Momoko Okuda, Yoshiaki Doi, Tim Jang Ching, Asako Harada, Akira Takeiri, Masaki Honda, Masayuki Mishima

J. Toxicol. Sci., Vol. 48, No. 7, 399-409, 2023

受賞者: 岩田 良香 (中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部)
本多 正樹 (中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部)
三島 雅之 (国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部)
原田 麻子 (中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部)
竹入 章 (中外製薬株式会社 安全性バイオサイエンス研究部)

論文： Continuous infiltration of small peritoneal macrophages in the mouse peritoneum through CCR2-dependent and -independent routes during fibrosis and mesothelioma development induced by a multiwalled carbon nanotube, MWNT-7

Motomu Shimizu, Motoki Hojo, Kiyomi Ikushima, Yukio Yamamoto, Ai Maeno, Yoshimitsu Sakamoto, Naozumi Ishimaru, Yuhji Taquahashi, Jun Kanno, Akihiko Hirose, Jin Suzuki, Akiko Inomata, Dai Nakae

J. Toxicol. Sci., Vol. 48, No. 12, 617-639, 2023

受賞者： 北條 幹 (東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部)
 中江 大 (帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科)
 前野 愛 (東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部)
 坂本 義光 (東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部)
 高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)
 菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)
 広瀬 明彦 (化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所)
 猪又 明子 (東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部)

選考委員長：中江 大 (帝京平成大学)
 プレゼンター：務台 衛 (一般社団法人日本毒性学会理事長／メディフォード株式会社)

ファイザー賞 / Pfizer Award

表彰式 / Award Ceremony

7月4日(木) / July 4 (Thu) 13:15 - 14:55

第1会場 / Room1

ファイザー賞受賞論文と受賞者 Pfizer Award

論文： A rapid screening assay for L452R and T478K spike mutations in SARS-CoV-2 Delta variant using high-resolution melting analysis

Akira Aoki, Hirokazu Adachi, Yoko Mori, Miyabi Ito, Katsuhiko Sato, Kenji Okuda, Toru Sakakibara, Yoshinori Okamoto, Hideto Jinno

J. Toxicol. Sci., Vol. 46, No. 10, 471-476, 2021

受賞者： 神野 透人 (名城大学薬学部)
 青木 明 (名城大学薬学部)
 森 葉子 (名城大学薬学部 (現：国立医薬品食品衛生研究所))
 岡本誉士典 (名城大学薬学部)

論文： Environmental cadmium exposure induces kidney tubular and glomerular dysfunction in the Myanmar adults

Muyar Win-Thu, Ohnmar Myint-Thein, Tin-Tin Win-Shwe, Ohn Mar

J. Toxicol. Sci., Vol. 46, No. 7, 319-328, 2021

受賞者： Tin-Tin Win-Shwe (国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康領域)

論文： Adverse effects of methylmercury on gut bacteria and accelerated accumulation of mercury in organs due to disruption of gut microbiota

Natsumi Seki, Masahiro Akiyama, Hiroto Yamakawa, Koji Hase, Yoshito Kumagai, Yun-Gi Kim
J. Toxicol. Sci., Vol. 46, No. 2, 91-97, 2021

受賞者： 秋山 雅博（昭和大学 臨床薬理研究所）
関 夏実（京都大学 がん免疫総合研究センター）
熊谷 嘉人（九州大学大学院 薬学研究院）

論文： Chronic cardiotoxicity assessment of BMS-986094, a guanosine nucleotide analogue, using human iPS cell-derived cardiomyocytes

Shota Yanagida, Ayano Satsuka, Sayo Hayashi, Atsushi Ono, Yasunari Kanda
J. Toxicol. Sci., Vol. 46, No. 8, 359-369, 2021

受賞者： 諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）
柳田 翔太（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）
佐塚 文乃（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）
林 紗代（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）
小野 敦（岡山大学）

選考委員長：鍛冶 利幸（東京理科大学）
プレゼンター：務台 衛（一般社団法人日本毒性学会理事長／メディフォード株式会社）

技術賞 / Outstanding Technology Award

表彰式 / Award Ceremony

7月4日（木）/ July 4 (Thu) 13:15 - 14:55

第1会場 / Room1

技術賞

Outstanding Technology Award

研究課題名： 再現性を向上させた *in vitro* 毛細胆管モデルの構築

受賞者：北口 隆 / Takashi Kitaguchi
(日清食品ホールディングス株式会社 グローバル食品安全研究所)

研究課題名： 急性臓毒性バイオマーカーとしての miR-216a および miR-217 の汎用性の確立

受賞者：倉重誠一郎 / Seichiro Kurashige
(EA ファーマ株式会社 (現所属・協和キリン株式会社))

研究課題名： *in vitro* 肝毒性評価系の外挿性向上の取り組み

受賞者：竹村 見典 / Akinori Takemura
(千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)

選考委員長：三島 雅之（国立医薬品食品衛生研究所）
プレゼンター：務台 衛（一般社団法人日本毒性学会理事長／メディフォード株式会社）

日化協 LRI 賞 / The JCIA LRI Award

表彰式 / Award Ceremony

7月4日(木) / July 4 (Thu) 13:15 - 14:55

第1会場 / Room1

日化協 LRI 賞 The JCIA LRI Award

研究課題名：メチル水銀による末梢感覚神経障害とその回復機構

受賞者：篠田 陽 / Yo Shinoda
(東京薬科大学薬学部 公衆衛生学教室)

選考委員長：渋谷 淳 (東京農工大学大学院)
プレゼンター：務台 衛 (一般社団法人日本毒性学会理事長 / メディフォード株式会社)

優秀研究発表賞応募演題 口演

優秀研究発表賞応募演題 口演 1

7月3日(水) 9:30 - 10:36 第6会場

■ 優秀研究発表賞応募演題 口演 1

座長：石塚 真由美 (北海道大学獣医学研究院)

小野 竜一 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

アグリカルチャルトキシコロジー

P-1E フィブロニル代謝物が引き起こすミクログリア-ニューロン間相互作用の攪乱メカニズムの解明

9:30 - 9:36

平野 哲史 (富山大学 学術研究部 薬学・和漢系)

レドックストキシコロジー

P-3E メチルグリオキサールによるフェルトーシス抑制作用の分子機構の解析

9:36 - 9:42

新島 拓也 (東北大・院薬・衛生化学)

P-10E 薬剤性肺障害における長鎖アシル CoA 合成酵素 4 の役割の解析

9:42 - 9:48

富塚 祐希 (昭和大学薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門)

P-11E 水素水摂取によるマウスの運動持久力向上：抗酸化作用と代謝改善効果について

9:48 - 9:54

水野 瑛夏 (筑波大学大学院 医学学位プログラム)

ドラッグトキシコロジー

P-15E Pharmacokinetic/toxicodynamic シミュレーションに基づくリネゾリドによる血小板減少症の定量的リスク評価

9:54 - 10:00

大仁田 哲修 (島根大学医学部附属病院薬剤部)

P-16E マクロファージおよび概日時計機構に着目したバンコマイシン誘発性腎障害の発症機構解析

10:00 - 10:06

福田 大輝 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

P-17E Benzimidazole 類の一種 metonitazene 単回投与後のマウス脳における脱離エレクトロスプレーイオン化-質量分析イメージング法 (DESI-MSI) を用いた分布解析

10:06 - 10:12

野村 紗希子 (東京都健康安全研究センター薬事環境科学部)

P-18E マルチオミクスによる腎臓近位尿管におけるシスプラチン排泄機構の性差同定

10:12 - 10:18

清水 聡史^{1,2} (1 静岡県立大学 薬学部 生体情報分子解析学, ² 東京慈恵会医科大学 SI 医学応用研究センター / 臨床検査医学講座)

P-19E IFN α 様活性を有する cccDNA modulator による胆汁酸依存的な肝細胞死の機序解析

10:18 - 10:24

竹村 晃典 (千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)

P-20E シスプラチン耐性近位尿管細胞を用いた新規シスプラチン腎障害責任因子の探索

10:24 - 10:30

田口 央基 (徳島文理大学大学院薬学研究科衛生化学分分野)

フードトキシコロジー

P-28E トランス脂肪酸の関連疾患予防・治療への応用を目指した包括的毒性リスク評価

10:30 - 10:36

木村 信之介 (東北大・院薬・衛生化学)

■ 優秀研究発表賞応募演題 口演 2

座長：諫田 泰成 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)
 外山 喬士 (東北大学大学院薬学研究所代謝制御薬学分野)

ニューロトキシコロジー

P-32E AIを用いたカニクイザルにおける異常行動検出モデルの構築

10:36 - 10:42

紺野 紘矢 (第一三共株式会社 研究開発本部 安全性研究所)

P-35E 中枢神経系における薬物毒性評価のための神経細胞と星状膠細胞の信号分離

10:42 - 10:48

倉敷 秀明 (東北工業大学工学部電気電子工学科)

P-36E ゼブラフィッシュの脳全体における細胞死やミクログリア動態の定量的な三次元画像解析を利用した神経毒性評価の確立

10:48 - 10:54

弓削 瑞葵 (三重大学大学院医学系研究科統合薬理学)

オルガネラトキシコロジー

P-43E The role of hiPSC-derived cardiomyocytes in cardiac safety pharmacology study: NEXEL's Cardiosight®-S and CiPA assay

10:54 - 11:00

Ami KIM (Department of Commercializing iPSC Technology, Division of Drug & Cell Cooperative Relation, NEXEL Co., Ltd., Korea.)

ジェネティクトキシコロジー

P-44E γ -H2AX と幹細胞マーカーの免疫染色を用いたラット肝発がん物質早期検出法の検討

11:00 - 11:06

畠山 瑞穂 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)

P-45E 超音波検査によるカニクイザルの排卵時期の指標と妊娠率向上への取り組み

11:06 - 11:12

菅田 恵理世 (株式会社新日本科学 安全性研究所)

P-48E 環境中親電子物質 1,2-ナフトキノンによる DNA メチル化阻害を介した炎症応答活性化

11:12 - 11:18

土田 知貴 (岡山大学学術研究院医歯薬学域薬効解析学)

P-50E アセトアミドのラット肝発がん過程における染色体再構成の関与の検討

11:18 - 11:24

山上 洋平^{1,2} (¹国立医薬品食品衛生研究所 病理部, ²東京農工大学大学院 獣医毒理学研究室)

エンバイロメンタルトキシコロジー

P-52E バガスを用いた水環境中からのカドミウムの除去に関する基礎的検討

11:24 - 11:30

山城 海渡^{1,2} (¹東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室, ²近畿大学薬学部公衆衛生学研究室)**P-53E 新規 *in vivo* エストロゲン作動性試験法を用いたビスフェノール A の低用量影響評価**

11:30 - 11:36

石田 慶士 (岐阜薬科大学衛生学研究室)

P-59E Comparative Assessment of Co-Exposure Effects of the Ferruginous Components of Subway and Ambient PM with Lipopolysaccharide on Vascular Function

11:36 - 11:42

Oluwatoyin Hannah OWOKONIRAN (Division of Environmental Health, Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto, Japan)

■ 優秀研究発表賞応募演題 口演 3

座長：石原 康宏 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

桑形 麻樹子 (帝京平成大学)

クロノトキシコロジー

P-60E 単球の概日時計機構とビタミン A の毒性に着目とした新規心-腎関連機構の解明と治療薬探索

13:30-13:36

吉田 優哉 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

ファーマコロジカルトキシコロジー

P-62E 変異原性強度情報を含む化合物 Ames 変異原性予測システムの開発

13:36-13:42

杉山 聡 (富士フイルム株式会社 イメージング・インフォマティクスラボ)

P-64E 機械学習技術を利用した毒性特異的な空間に基づくリード・アクロス手法の開発：皮膚感作性多段階リスク評価の例

13:42-13:48

浅井 崇穂 (サンスター株式会社 研究開発推進部 安全性・分析室)

P-69E ADRA 等を用いたニューラルネットワークによる感作性リスク評価モデルの構築

13:48-13:54

今井 浩介 (株式会社資生堂 ブランド価値開発研究所)

P-70E ヒト腸管オルガノイドを用いた消化管毒性評価系の構築

13:54-14:00

須藤 優喜 (中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部)

P-74E 有害性評価支援システム統合プラットフォーム (HESS) データベースを用いた構造類似度と反復投与毒性における NOEL 比の相関解析

14:00-14:06

中川 翔太 (花王株式会社 安全性科学研究所)

P-78E 最新の ICH E14/S7B に基づくヒト多能性幹細胞由来心筋細胞を用いた医薬品評価

14:06-14:12

キム ユウン ((株)NEXEL iPS 細胞技術事業化本部)

P-89E Assessment of genotoxicity and carcinogenic potential of animal-based traditional Chinese medicine

14:12-14:18

Yun-Rong TSAI (Master Degree Program in Toxicology, College of Pharmacy, Kaohsiung Medical University)

イムノトキシコロジー

P-96E 免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象 (irAEs) の体系的調査及び患者の生命予後に与える影響の解析

14:18-14:24

松金 良祐 (九州大学病院 薬剤部)

■ 優秀研究発表賞応募演題 口演 4

座長：木村 朋紀 (摂南大学薬学部 公衆衛生学研究室)

斎藤 芳郎 (東北大学大学院薬学研究科)

ドラッグトキシコロジー

P-21E 難溶性物質の *in vitro* 毒性試験の予測精度向上に向けた新規溶媒の開発と適用限界の検証

14:24 - 14:30

久保田 祐介 (サントリーホールディングス株式会社)

ファーマコロジカルトキシコロジー

P-22E *In vitro* 血管局所刺激性評価系の構築とその有用性

14:30 - 14:36

山室 友紀 (中外製薬株式会社 TR 本部)

ドラッグトキシコロジー

P-23E 定量 PCR 法と免疫染色法による非臨床試験におけるマウス組織中のヒト間葉系幹細胞検出法の比較

14:36 - 14:42

八代 百合子 (シミックファーマサイエンス株式会社)

ファーマコロジカルトキシコロジー

P-79E MC903 の反復局所塗布によるアトピー性皮膚炎モデルマウスにおける 4 週間経日的病態解析

14:42 - 14:48

星野 雄也 (大塚製薬株式会社 徳島創薬研究センター 前臨床研究所 探索安全性研究部)

メタロミクストキシコロジー

P-111E カドミウムによる絨毛外性栄養膜細胞 HTR-8/SVneo の遊走・浸潤阻害の機序解析

14:48 - 14:54

小串 祥子 (摂南大学薬学部 公衆衛生学研究室)

オーガントキシコロジー

P-119E 新規 transcriptional enhanced associate domain (TEAD) 阻害薬 K-975 のラットにおける可逆的な腎毒性

14:54 - 15:00

大槻 博礼^{1,2} (¹協和キリン株式会社 安全性研究所, ²静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野)**P-124E** 患者由来 iPS 細胞を用いた進行性家族性肝内胆汁うっ滞症の病態解明

15:00 - 15:06

出口 清香 (京都大学 iPS 細胞研究所)

P-126E コレステロール性胆石症モデルマウス由来胆嚢オルガノイドの開発とその応用

15:06 - 15:12

山本 晴 (東京農工大学獣医薬理学研究室)

P-132E セルトリ細胞におけるビメンチンの免疫組織化学的变化と精子形成不全との関連

15:12 - 15:18

齊藤 洋克 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

一般演題 口演

一般演題 口演 1

7月3日(水) 15:30 - 16:18 第6会場

■ 一般演題 口演 1

座長：中西 剛 (岐阜薬科大学衛生学研究室)
志津 怜太 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)

ドラッグトキシコロジー

0-1 ルシフェリン誘導体 TokeOni による新規生物発光機構

15:30 - 15:42

仲村 厚志^{1,2} (¹電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻, ²電気通信大学脳・医工学研究センター)

0-2 マウス骨格筋におけるシスプラチン誘発筋萎縮に伴うミトコンドリアの機能低下

15:42 - 15:54

酒井 寛泰 (星薬科大学薬学部生体分子薬理学研究室)

0-3 アリビプラゾールによる薬剤性肝障害が疑われた一例

15:54 - 16:06

外間 登 (琉球大学病院薬剤部)

フードキシコロジー

0-5 Method validation of inorganic arsenic using HPLC-ICPMS and assessing its contamination in rice sold in Malaysia

16:06 - 16:18

Ahmad Faizal ABDULL RAZIS^{1,2} (¹Department of Food Science, Faculty of Food Science and Technology, Universiti Putra Malaysia, Malaysia, ²Laboratory of Food Safety and Food Integrity, Institute of Tropical Agriculture and Food Security, Universiti Putra Malaysia, Malaysia)

一般演題 口演 2

7月3日(水) 16:30 - 17:30 第6会場

■ 一般演題 口演 2

座長：西村 明幸 (生理学研究所心循環シグナル研究部門)
横田 理 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター毒性部)

ニューロトキシコロジー

0-6 マウス脳の大カレハ島ニューロンは新規のダイオキシン標的細胞である

16:30 - 16:42

Eiki KIMURA (Department of Environmental Health, University of Fukui School of Medical Sciences)

0-7 膜電位感受性色素によるマウス前頭前野の大規模神経活動イメージング：毒物による脳機能変調を捉える新規の計測法

16:42 - 16:54

富永 貴志^{1,2,3} (¹徳島文理大学神経科学研究所, ²徳島文理大学香川薬学部, ³徳島文理大学大学院薬学研究科)

オルガネラトキシコロジー

0-8 ベンゾ [a] ピレンおよびベンゾ [a] ピレンジオールエポキシドは乳がん細胞に細胞老化を誘導する

16:54 - 17:06

北本 夏子 (阪大院薬)

0-9 肝がん細胞株 HuH-7 細胞におけるアルデヒドデヒドロゲナーゼ1ファミリーメンバー L1 発現がテトラヒドロ葉酸代謝とベントースリン酸経路に及ぼす影響

17:06 - 17:18

佐々木 雅人 (東北医科薬科大学薬学部感染生体防御学)

ジェネティクトキシコロジー

0-10 クロマチン免疫沈降法を利用した DNA 損傷応答解析による遺伝毒性応答反応の検出

17:18 - 17:30

堀端 克良 (国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部)

一般演題 口演 3

7月4日(木) 11:00 - 11:36 第4会場

■ 一般演題 口演 3

座長：栗田 尚佳 (岐阜薬科大学 薬物治療学)

久保田 翔 (岡山大学 学術研究院医歯薬学域(薬) 薬効解析学)

ジェネティクトキシコロジー

0-11 エピジェネティック毒性学の確立へ

11:00 - 11:12

澁谷 徹 (環境エピジェネティクス研究所)

0-12 ヒ素化合物によるパータナトス誘導機構の解明

11:12 - 11:24

野口 拓也 (東北大学 大学院 薬学研究所 衛生化学分野)

0-13 グリシドアミド付加体のホルムアミドピリミジン誘導体は DNA 複製阻害と突然変異を誘発する

11:24 - 11:36

赤木 純一 (国立医薬品食品衛生研究所病理部)

一般演題 口演 4

7月4日(木) 11:00 - 11:36 第6会場

■ 一般演題 口演 4

座長：新開 泰弘 (東京薬科大学)

有澤 琴子 (東北大学大学院薬学研究所 代謝制御薬学分野)

ジェネティクトキシコロジー

0-14 プテロスチルベンは、Nrf2 のエピジェネティックな制御を通じて高血糖微小環境下で内皮保護を付与します

11:00 - 11:12

Ramkumar KUNKA MOHANRAM (教授(研究) バイオテクノロジー学科 バイオエンジニアリング学部 SRM Institute of Science and Technology, India)

エンバイロメンタルトキシコロジー

0-15 ヒト iPS 細胞由来 BBB モデルを用いた PFAS 曝露による血液脳関門への影響評価

11:12 - 11:24

藤原 悠基 (群馬大学大学院医学系研究科応用生理学分野)

0-16 妊娠期の 2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-p-dioxin 曝露による児の発育抑制：母体への Aripiprazole 介入による母乳量回復と発育障害改善

11:24 - 11:36

郷 幸 (九州大院・薬)

一般演題 口演 5

7月4日(木) 11:00 - 11:36 第7会場

■ 一般演題 口演 5

座長：安孫子 ユミ (長崎大学)
濱野 裕章 (岡山大学病院)

エンバイロメンタルトキシコロジー

O-17 ビスフェノール A の代謝物 MBP による乳がん細胞の悪性化における膜型エストロゲン受容体 GPER1 の関与

11:00 - 11:12

平尾 雅代 (広島国際大学薬学部)

ファーマコジカルトキシコロジー

O-18 Vigibase を用いたイリノテカン誘発性有害事象に対するロペラミドの影響評価

11:12 - 11:24

赤城 友章 (長崎大学病院 薬剤部)

O-19 Investigation of methods for constructing prediction models for the small dataset of Cytochrome P450 (CYPs) inhibition using deep learning

11:24 - 11:36

Elpri E. PERMADI^{1,2} (¹Institute for Protein Research, Osaka University, ²Research Center for Pharmaceutical Ingredients and Traditional Medicine, National Research and Innovation Agency, Indonesia)

一般演題 口演 6

7月5日(金) 11:00 - 11:36 第4会場

■ 一般演題 口演 6

座長：佐藤 洋美 (千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学)
武田 知起 (株式会社エフシイズ 新素材研究室)

ファーマコジカルトキシコロジー

O-20 iPSC 細胞由来成熟心臓組織と機械学習を用いた薬剤性心臓障害に対する新規治療薬開発

11:00 - 11:12

舟越 俊介 (京都大学 iPSC 細胞研究所増殖分化機構研究部門)

O-21 クリオキノール (キノホルム) によるミトコンドリア銅シャペロン SCO2 の発現抑制機構の解析

11:12 - 11:24

勝山 真人 (京都府立医科大学中央研究室 RI 部門)

O-22 ヒト肝細胞由来の Conditioned Medium で培養された凍結ヒト肝細胞を用いた胆汁うっ滞毒性評価系の検討

11:24 - 11:36

石田 雄二^{1,2,3} (¹株式会社フェニックスバイオ 研究開発部, ²広島大学大学院 医系科学研究科, ³南カリフォルニア大学 医学部)

一般演題 口演 7

7月5日(金) 11:00 - 11:36 第5会場

■ 一般演題 口演 7

座長：服部 奈緒子 (群馬大学生体調節研究所)

藤代 瞳 (徳島文理大学薬学部)

オミクストキシコロジー

0-23 High-throughput RNA sequencing combined with multiparametric in vitro assays for cardiotoxicity risk assessment and mechanistic determination
11:00 - 11:12

Paul A WALKER (Cyprotex Discovery Ltd, Department of Toxicology, Alderley Park, Cheshire, UK)

ナノトキシコロジー

0-24 Setd5 ヘテロ欠損と炭素ナノ粒子妊娠期曝露の重複は自閉スペクトラム症のリスクを相乗的に上昇させる
11:12 - 11:24

小野田 淳人 (山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部衛生化学分野)

0-25 Assessment of Pulmonary Toxicity and Carcinogenicity of Carbon Nano-Horns (CNH) and Carbon Nano-Brushes (CNB) Using Intra Tracheal Instillation in the Rats
11:24 - 11:36

Omnia Hosny Mohamed AHMED^{1,2,3} (¹Nanotoxicology Project Lab, Nagoya City University, Nagoya, Japan, ²Department of Experimental Pathology and Tumor Biology, Nagoya City University, Nagoya, Japan, ³Department of Forensic Medicine and Clinical Toxicology, Aswan University, Aswan, Egypt)

一般演題 口演 8

7月5日(金) 11:00 - 11:36 第6会場

■ 一般演題 口演 8

座長：角 大悟 (徳島文理大学薬学部薬物治療学)

大黒 亜美 (広島大学 大学院医系科学研究科)

ナノトキシコロジー

0-26 紫外線劣化したナノプラスチックによる細胞毒性評価
11:00 - 11:12

北村 祐貴 (自治医科大学医学部環境予防医学)

0-27 種々の酸化亜鉛ナノ粒子を対象とした抗原提示細胞活性化能の評価と活性化機序の解析
11:12 - 11:24

飯島 一智^{1,2} (¹横浜国立大学大学院工学研究院, ²横浜国立大学先端科学高等研究院)

イムノトキシコロジー

0-28 Role of CXCL5/CXCR2/LIF/LIFR Signaling in Enhancing Immunosuppression and Neuroendocrine Differentiation in Prostate Cancer
11:24 - 11:36

Yen-Nien LIU (Graduate Institute of Cancer Biology and Drug Discovery, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University)

■ 一般演題 口演 9

座長：久保 千代美 (中外製薬株式会社)

岩井 美幸 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

■ イムノトキシコロジー

0-29 老化促進モデルマウスおよび自然老化マウスを用いたアレルギー性接触皮膚炎モデルマウスにおける免疫機能および病態に対する加齢変化の比較

11:00 - 11:12

金木 真央 (麻布大学大学院獣医学研究科薬理学研究室)

■ クリニカルトキシコロジー

0-30 Reactive blue 2 の雄性生殖毒性評価への適用

11:12 - 11:24

横田 理^{1,4} (¹ 国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター毒性部,⁴ 熊本大学大学院・生命科学研究所)**0-31** 組織特異的 cfDNA メチレーション解析技術による薬剤性精巣毒性バイオマーカー探索

11:24 - 11:36

佐々木 大祐 (アステラス製薬株式会社)

■ 一般演題 口演 10

座長：徳本 真紀 (愛知学院大学薬学部)

齋藤 文代 (岡山理科大学獣医学部獣医学科毒性学)

■ クリニカルトキシコロジー

0-32 大規模データベースを用いたチロシンキナーゼ阻害剤による心臓毒性リスクの評価

14:00 - 14:12

井川 祐輔^{1,2} (¹ 岡山大学病院 薬剤部,² 岡山大学 大学院 医歯薬総合研究科 臨床薬剤学分野)**0-33** パルプロ酸 (VPA) の妊娠マウスへの反復投与により誘導される羊水由来の細胞外小胞 Small RNA

14:12 - 14:24

小野 竜一 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

■ レギュラトリートキシコロジー

0-34 上皮間葉転換及びコロナウイルス関連分子パスウェイ活性化状態予測

14:24 - 14:36

田邊 思帆里 (国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部)

■ ディベロップメンタルトキシコロジー

0-35 多能性幹細胞を用いたトランスクリプトームプロファイルに関するサリドマイドとビスフェノール A の比較研究

14:36 - 14:48

曾根 秀子 (横浜薬科大学大学院薬学研究所ヘルスサイエンス専攻)

0-36 Poly(I:C) のマウス胎仔期曝露は脳の形態異常と発達障害に相関する行動異常を誘発する

14:48 - 15:00

駒田 致和 (近畿大学理工学部生命科学科)

■ 一般演題 口演 11

座長：住岡 暁夫 (国立水俣病総合研究センター)
黄 基旭 (東北医科薬科大学 薬学部 環境衛生学教室)

メタロミクストキシコロジー

- 0-37** 持続的な Zn^{2+} - H_2O_2 シグナルによる黒質ドパミン神経変性とイグサ成分による防御
14:00-14:12 武田 厚司 (静岡県立大学薬学部)
- 0-38** 海馬神経に特異的に発現する BDNF はメチル水銀神経毒性抵抗性に関与する
14:12-14:24 藤村 成剛 (国立水俣病総合研究センター)
- 0-39** 銅フェナントロリン錯体による細胞毒性の細胞種特異性とその発現機構に関する研究
14:24-14:36 中村 武浩 (摂南大学薬学部)
- 0-40** ヒ素への慢性曝露はサルコペニア肥満を引き起こす
14:36-14:48 姫野 誠一郎^{1,2} (¹昭和大学薬学部, ²徳島文理大学薬学部)

■ 一般演題 口演 12

座長：高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)
加藤 百合 (九州大学大学院薬学研究院生理学分野)

オーガントキシコロジー

- 0-41** パルプロ酸は HDAC 阻害作用を介して胎盤のトリプトファン輸送トランスポーターの発現量を減少する
14:00-14:12 東阪 和馬^{1,2,3} (¹阪大高等共創研, ²阪大院薬, ³阪大薬)
- 0-42** プレオマイシンは老化を進行させ肺毒性を示すが、直接的に線維化を進めない
~ iUIP モデル由来 Precision-cut lung slices, PCLS を利用した毒性および線維化評価 ~
14:12-14:24 金澤 智 (名古屋市立大学 大学院医学研究科 神経発達症遺伝学)
- 0-43** 人工心筋組織のための低吸着デバイスの開発
14:24-14:36 藤原 佑哉^{1,4} (¹京都大学 iPS 細胞研究所, ⁴T-CiRA プロジェクト)
- 0-44** SREBP-1 の新規標的を介した肝病態に対する影響
14:36-14:48 煙山 紀子 (東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科)
- 0-45** 鉄過剰ラットへの四塩化炭素反復投与は全身性出血を伴う重度肝障害を誘発する
14:48-15:00 井澤 武史 (大阪公立大学獣医病理学教室)

■ 一般演題 口演 13

座長：西村 泰光 (川崎医科大学衛生学)

宮崎 育子 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学)

オーガントキシコロジー

0-46 BRAF 阻害薬 dabrafenib による MAPK 経路の活性化を介した皮脂産生の抑制的制御
15:00 - 15:12

小岩井 利一 (東京薬科大学薬学部生化学教室)

0-47 免疫抑制剤 cyclosporine は脂腺増殖症の発症機構である皮脂産生促進と細胞増殖を引き起こす
15:12 - 15:24

北條 達也 (東京薬科大学薬学部生化学教室)

0-48 新しいハイスループット個別ゼブラフィッシュ腎毒性スクリーニングシステムの創生と応用
15:24 - 15:36田中 利男^{1,2} (¹ 三重大学大学院医学系研究科システムズ薬理学, ² 三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター)**0-49** ヒト皮膚線維芽細胞におけるインドキシル硫酸による MMP および TIMP-1 産生調節機構
15:36 - 15:48

富田 亮輔 (東京薬科大学薬学部生化学教室)

0-50 チアミン摂取によるレプチン受容体欠損マウスの糖尿病状態への影響
15:48 - 16:00

幸田 祐佳 (大阪医科大学薬学部 薬物治療学研究室)

フードキシコロジー

0-4 食品成分比変調機能を有する双方向物質移動デバイスの開発
16:00 - 16:12

藤野 智史 (東京薬科大学薬学部衛生化学教室)

一般演題 ポスター

P-●E: 優秀研究発表賞応募演題

P-●S: 学生ポスター発表賞応募演題

第1日目 (7月3日 (水) 17:30 - 18:30) ポスター・展示会場

プログラム
(ポスター)

■ アグリカルチャルトキシコロジー

P-1E フィブロニル代謝物が引き起こすミクログリア-ニューロン間相互作用の攪乱メカニズムの解明

平野 哲史 (富山大学 学術研究部 薬学・和漢系)

P-2S 古紙リサイクル排水に含まれる増感剤関連物質の芳香族炭化水素受容体 (AhR) 活性化能の評価

Jiayan SUN (北里大学獣医学部毒性学研究室)

■ レドックストキシコロジー

P-3E メチルグリオキサールによるフェロトキシ抑制作用の分子機構の解析

新島 拓也 (東北大・院薬・衛生化学)

P-4S TRPC6 の薬理的な活性化は心不全を改善する

Chenlin SU (Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University)

P-5S 横紋筋萎縮の進行における TRPC3-Nox2 タンパク質複合体形成の関与

呉 迪 (九州大学大学院薬学研究院生理学)

P-6S フェロトキシにおける脂質過酸化過程の解析と CYP7A1 の寄与

石田 恵生 (東北大学薬学部代謝制御薬学分野)

P-7S メタボローム解析によるヒト肝がん細胞 (HepG2) における低温ストレス応答機構の解明

福田 彩乃 (千葉大学大学院医学薬学府)

P-8S 腸内細菌由来の超硫黄分子が宿主および細菌の抗酸化能に及ぼす影響

内山 純^{1,2} (¹慶應義塾大学薬学部, ²昭和大学臨床薬理研究所)

P-9S ヒトグリオプラストーマにおける光線力学療法の抗腫瘍効果に対するレチノイドの増強作用

河野 峻 (東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室)

P-10E 薬剤性肺障害における長鎖アシル CoA 合成酵素 4 の役割の解析

富塚 祐希 (昭和大学薬学部社会健康薬学講座衛生薬学部門)

P-11E 水素水摂取によるマウスの運動持久力向上: 抗酸化作用と代謝改善効果について

水野 瑛夏 (筑波大学大学院 医学学位プログラム)

P-12S 超硫黄分子代謝は細胞形態の調節に関与する

Liuchenzi ZHOU^{1,2} (¹生理研究所心循環シグナル, ²総合研究大学院大学生命科学研究部門)

P-13S Mitochondrial ROS and dynamin-related protein 1 mediates angiotensin II-induced Ca²⁺ signaling in vascular smooth muscle cells

Yoon-Seok SEO (BK21 FOUR Team and Integrated Research Institute of Drug Development, College of Pharmacy, Dongguk University, Republic of Korea)

■ **ヒューマントキシコロジー**

P-14S The impact of long-term exposure to low levels of arsenate on erythropoietin production in vitro and in vivo

Md. Anamul HAQUE (Laboratory of Toxicology, Faculty of Veterinary Medicine, Osaka Metropolitan University)

■ **ドラッグトキシコロジー**

P-15E Pharmacokinetic/toxicodynamic シミュレーションに基づくリネゾリドによる血小板減少症の定量的リスク評価

大仁田 哲修 (島根大学医学部附属病院薬剤部)

P-16E マクロファージおよび概日時計機構に着目したバンコマイシン誘発性腎障害の発症機構解析

福田 大輝 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

P-17E Benzimidazole 類の一種 metonitazene 単回投与後のマウス脳における脱離エレクトロスプレーイオン化-質量分析イメージング法 (DESI-MSI) を用いた分布解析

野村 紗希子 (東京都健康安全研究センター薬事環境科学部)

P-18E マルチオミクスによる腎臓近位尿管におけるシスプラチン排泄機構の性差同定

清水 聡史^{1,2} (1 静岡県立大学 薬学部 生体情報分子解析学, 2 東京慈恵会医科大学 SI 医学応用研究センター / 臨床検査医学講座)

P-19E IFN α 様活性を有する cccDNA modulator による胆汁酸依存的な肝細胞死の機序解析

竹村 晃典 (千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)

P-20E シスプラチン耐性近位尿管細胞を用いた新規シスプラチン腎障害責任因子の探索

田口 央基 (徳島文理大学大学院薬学研究科衛生化学分野)

P-21E 難溶性物質の in vitro 毒性試験の予測精度向上に向けた新規溶媒の開発と適用限界の検証

久保田 祐介 (サントリーホールディングス株式会社)

P-23E 定量 PCR 法と免疫染色法による非臨床試験におけるマウス組織中のヒト間葉系幹細胞検出法の比較

八代 百合子 (シミックファーマサイエンス株式会社)

P-24S 環境毒性物質が鳥類の腸内細菌叢に与える影響

小笠原 浩平 (北海道大学大学院獣医学研究院環境獣医学分野毒性学教室)

■ フードトキシコロジー

- P-25S** ビタミン A 蓄積を介した腸管 IgA 分泌異常による CKD 性心筋症増悪機構の解析
福岡 航平 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)
- P-26S** 片腎摘出マウスの高リン食給餌におけるリンの恒常性の調節機構
各務 温花 (東京農工大学大学院応用生物科学研究所食品安全健康学専攻)
- P-27S** L- テアニン由来新規リジンアシル化修飾タンパク質の網羅的探索
河原 幸平 (東京薬科大学生命科学部細胞情報科学研究室)
- P-28E** トランス脂肪酸の関連疾患予防・治療への応用を目指した包括的毒性リスク評価
木村 信之介 (東北大・院薬・衛生化学)
- P-29S** 食品成分由来リジンアシル化修飾の探索
青木 康明^{1,2} (¹東薬大 生命科学, ²理研 CSRS 生命分子解析ユニット)

■ ニューロトキシコロジー

- P-30S** イミダクロプリドの発達期曝露により誘発されるラットの海馬神経新生障害に対する非晶質クルクミンの保護効果
海老塚 由理 (東京農工大・獣医病理学研究室)
- P-31S** Effects of maternal exposure to imidacloprid on cerebellar development and behaviors of rat offspring
Xinyu ZOU^{1,2} (¹東京農工大・獣医病理学研究室, ²東京農工大・院・共同獣医学専攻)
- P-32E** AI を用いたカニクイザルにおける異常行動検出モデルの構築
紺野 紘矢 (第一三共株式会社 研究開発本部 安全性研究所)
- P-33S** メチル水銀曝露による痛覚特異的鈍麻は末梢神経系由来ではない
小澤 美咲^{1,2,5} (¹広尾学園高等学校, ²東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室, ⁵慶應 Global Science Campus/JST)
- P-34S** メチル水銀曝露ラット後根神経節における炎症応答細胞と神経細胞死
関口 由香 (東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室)
- P-35E** 中枢神経系における薬物毒性評価のための神経細胞と星状膠細胞の信号分離
倉敷 秀明 (東北工業大学工学部電気電子工学科)
- P-36E** ゼブラフィッシュの脳全体における細胞死やミクログリア動態の定量的な三次元画像解析を利用した神経毒性評価の確立
弓削 瑞葵 (三重大学大学院医学系研究科統合薬理学)

■ オルガネラトキシコロジー

- P-37S** 低酸素環境における培養血管内皮細胞プロテオグリカンの mRNA およびコアタンパク質の発現は非依存的に調節される
白井 美咲^{1,3} (¹東邦大学薬学部, ³日本学術振興会特別研究員 DC)
- P-38S** 低酸素条件下におけるヒト血管内皮細胞株 EA.hy926 のプロテオグリカン発現の変動
秋元 悠歌 (東邦大学薬学部)
- P-39S** ジチアノンによるエピゲノム制御を介した STAT1 活性化機構の解明
伊藤 嘉崇 (岡山大学学術研究院医歯薬学域薬効解析学)

- P-40S** ATPは血管内皮細胞に対する過酸化水素の毒性をP2Y受容体を介して増強する
鶴田 莉菜 (東邦大学薬学部衛生化学教室)
- P-41S** ATPによるP2Y2-Aktシグナルを介した内皮細胞のパールカン発現の抑制
池内 璃仁 (東京理科大学薬学部)
- P-42S** 低酸素条件下における血管内皮細胞のグリコサミノグリカン合成酵素 mRNA 発現の変動
皆川 友駿 (東邦大学薬学部衛生化学教室)
- P-43E** The role of hiPSC-derived cardiomyocytes in cardiac safety pharmacology study: NEXEL's Cardiosight®-S and CIPA assay
Ami KIM (Department of Commercializing iPSC Technology, Division of Drug & Cell Cooperative Relation, NEXEL Co., Ltd, Korea.)

■ ジェネティクトキシコロジー

- P-44E** γ -H2AXと幹細胞マーカーの免疫染色を用いたラット肝発がん物質早期検出法の検討
畝山 瑞穂 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)
- P-45E** 超音波検査によるカニクイザルの排卵時期の指標と妊娠率向上への取り組み
菅田 恵理世 (株式会社新日本科学 安全性研究所)
- P-46S** 異物応答性核内受容体CARによるGadd45b遺伝子プロモーターの脱メチル化を介したGadd45b転写調節機構の解析
竹下 明希 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学)
- P-47S** 鼻中隔細胞における一酸化窒素によるエピゲノム変化を介した発現制御機構の解析
神上園 渚月 (岡山大学薬学部薬効解析学)
- P-48E** 環境中親電子物質1,2-ナフトキノンによるDNAメチル化阻害を介した炎症応答活性化
土田 知貴 (岡山大学学術研究院医歯薬学域薬効解析学)
- P-49S** マウスBhas42細胞及びヒトMCF-7細胞におけるエストロゲン遺伝毒性の比較
杉原 航平 (麻布大学)
- P-50E** アセトアミドのラット肝発がん過程における染色体再構成の関与の検討
山上 洋平^{1,2} (¹国立医薬品食品衛生研究所 病理部, ²東京農工大学大学院 獣医毒性学研究室)
- P-51S** The cigarette smoke induced attenuation of SLC02A1 expression is through Aryl hydrocarbon receptor (AhR) activation
Melody N. SHUMBA (Laboratory of Molecular Pharmacokinetics, School of Pharmacy Takasaki University of Health and Welfare)

■ エンバイロメンタルトキシコロジー

- P-52E** バガスを用いた水環境中からのカドミウムの除去に関する基礎的検討
山城 海渡^{1,2} (¹東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室, ²近畿大学薬学部公衆衛生学研究室)
- P-53E** 新規*in vivo*エストロゲン作動性試験法を用いたビスフェノールAの低用量影響評価
石田 慶士 (岐阜薬科大学衛生学研究室)
- P-54S** マイクロ・ナノプラスチックの細胞内動態解明に向けた検討
出原 若葉 (阪大薬)

- P-55S** *DNMT1* を介した神経分化期メチル水銀曝露による神経機能攪乱分子機構の解明
 奥田 安優 (岐阜薬科大学薬学部医療薬剤学大講座薬物治療学)
- P-56S** 1,2- ナフトキノンによる EGFR-ERK シグナリング活性化
 潘 玥璇 (岡山大学・学術研究院医歯薬学域・薬効解析学)
- P-57S** 核内受容体 PXR のフェノール系酸化防止剤に対する応答性のヒトラット間における種差
 勝目 誠 (岡山大学大学院医歯薬総合研究科)
- P-58S** Retinoid X receptor を介した有機スズによるムラサキガイ付着関連分子の転写制御
 野村 明日香 (岐阜薬大・薬)
- P-59E** Comparative Assessment of Co-Exposure Effects of the Ferruginous Components of Subway and Ambient PM with Lipopolysaccharide on Vascular Function
 Oluwatoyin Hannah OWOKONIRAN (Division of Environmental Health, Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto, Japan)

■ クロノトキシコロジー

- P-60E** 単球の概日時計機構とビタミン A の毒性に着目とした新規心 - 腎関連機構の解明と治療薬探索
 吉田 優哉 (九州大学大学院薬学研究科薬物動態学分野)
- P-61S** シスプラチンの腎毒性に対して時計遺伝子 *Cry2* は毒性を軽減させる
 鳥本 晋太郎 (岐阜医療科学大学薬学部薬理学分野)

■ ファーマコロジカルトキシコロジー

- P-22E** In vitro 血管局所刺激性評価系の構築とその有用性
 山室 友紀 (中外製薬株式会社 TR 本部)
- P-62E** 変異原性強度情報を含む化合物 Ames 変異原性予測システムの開発
 杉山 聡 (富士フイルム株式会社 イメージング・インフォマティクスラボ)
- P-63S** ヒト iPS 細胞由来脳毛細血管内皮細胞を用いた薬物透過性の予測
 佐藤 寛之 (名古屋市立大学院 薬学研究科 臨床薬学分野)
- P-64E** 機械学習技術を利用した毒性特異的な空間に基づくリード・アクロス手法の開発：皮膚感受性多段階リスク評価の例
 浅井 崇穂 (サンスター株式会社 研究開発推進部 安全性・分析室)
- P-65S** QSAR 予測に向けた化学言語モデル運用における SMILES 表記の方言の影響
 菊池 陽佑 (東京大学大学院薬学系研究科)
- P-66S** ノロウイルス VLP を用いた多様なアジュバントにおける抗体産生能および毒性評価
 張 娟 (九州大学 薬学府 生理学)
- P-67S** COVID-19 ワクチン接種後の小児の心筋炎リスクに関する大規模研究
 東 さくら (岡山大学臨床薬剤学分野)

- P-68S** ギャップマー型アンチセンスによるマウスでの血液中アラニンアミノトランスフェラーゼ上昇を予測するための *in silico* モデルの開発
鈴木 孝太郎 (名古屋市立大学大学院薬学研究所 レギュラトリーサイエンス分野)
- P-69E** ADRA 等を用いたニューラルネットワークによる感作性リスク評価モデルの構築
今井 浩介 (株式会社資生堂 ブランド価値開発研究所)
- P-70E** ヒト腸管オルガノイドを用いた消化管毒性評価系の構築
須藤 優喜 (中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部)
- P-71S** 免疫チェックポイント阻害薬誘発心筋炎の発症予測モデルの構築
山元 黎奈 (岡山大学・学術研究院医歯薬学域・薬効解析学)
- P-72S** 3D-RPTEC を用いた Megalin 介在性腎障害の評価
彭 寒薇 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)
- P-73S** 医薬ビッグデータから薬剤性肝障害を予測する機械学習手法の開発
桃北 笙吾 (九州工業大学 大学院情報工学府 情報創成工学専攻)
- P-74E** 有害性評価支援システム統合プラットフォーム (HESS) データベースを用いた構造類似度と反復投与毒性における NOEL 比の相関解析
中川 翔太 (花王株式会社 安全性科学研究所)
- P-75S** 中枢神経系に対する安全性薬理試験評価法としての心拍変動解析の有用性に関する研究
永嶋 祐安 (東京大学農学生命科学研究科獣医衛生学研究室)
- P-76S** レセプトデータを用いたダサチニブの有効性・安全性に胃酸分泌抑制薬が及ぼす影響の評価
亀沖 真希 (岡山大学臨床薬理学分野)
- P-77S** 細胞外電位と電気化学の同時計測微小電極アレイシステムを用いたマウス急性脳スライスでの薬剤応答計測
長谷川 あい子 (東北工業大学工学研究科電子工学専攻)
- P-78E** 最新の ICH E14/S7B に基づくヒト多能性幹細胞由来心筋細胞を用いた医薬品評価
キム ユウン ((株)NEXEL iPS 細胞技術事業化本部)
- P-79E** MC903 の反復局所塗布によるアトピー性皮膚炎モデルマウスにおける 4 週間経時的病態解析
星野 雄也 (大塚製薬株式会社 徳島創薬研究センター 前臨床研究所 探索安全性研究部)
- P-80S** ラット膀胱オルガノイドを用いた新規化学発がんモデルの確立
長瀧 優子 (東京農工大学獣医薬理学研究室)
- P-81S** マイクロ流路デバイスとオルガノイドを用いた抗がん剤感受性・副作用評価システムの開発
小林 由季 (東京農工大学農学部獣医薬理学研究室)
- P-82S** A Novel Therapeutic Strategy for Diabetic Retinopathy by Using the Dual PARP-VEGFR Inhibitor
Tai-Ju HSU (Ph.D. Program in Drug Discovery and Development Industry, College of Pharmacy, Taipei Medical University, Taipei, Taiwan, R.O.C.)

- P-83S** Reversing the epithelial-mesenchymal transition by histone deacetylase inhibitor against diabetic retinopathy progression
Yen-Ju CHAN (School of Pharmacy, College of Pharmacy, Taipei Medical University, Taipei, Taiwan, R.O.C.)
- P-84S** Therapeutic Effect of Aza-PBHA Through Regulated A2E-related Dry Age-Related Macular Degeneration in ARPE-19 Cell and Mice Retina
Yu-Ting CHU (School of Pharmacy, College of Pharmacy, Taipei Medical University, Taipei, Taiwan, R.O.C.)
- P-85S** Exploring the Protective Effects of Azatyrosine-Phenylbutyric Hydroxamides under Blue Light Exposure-induced Geographic Atrophy through Complement Inhibition
En-Pei SU (School of Pharmacy, College of Pharmacy, Taipei Medical University, Taipei, Taiwan, R.O.C.)
- P-86S** The Development of Medicinal Fungi *Cordyceps cicadae* and *Hericium erinaceus* in The Therapeutic Application of Blue Light-Induced Age-related Macular Degeneration
Nien-Nien CHEN (School of Pharmacy, College of Pharmacy, Taipei Medical University)
- P-87S** Assessment of platelet activity and thrombogenic potential in soluble epoxide hydrolase-null mice
Jae-Hyeong KIM (BK21 FOUR Team and Integrated Research Institute of Drug Development, College of Pharmacy, Dongguk University)
- P-88S** Drug library screening identifies NOX2 inhibitor with in vivo efficacy
Yoon-Seok SEO (BK21 FOUR Team and Integrated Research Institute of Drug Development, College of Pharmacy, Dongguk University, Republic of Korea)
- P-89E** Assessment of genotoxicity and carcinogenic potential of animal-based traditional Chinese medicine
Yun-Rong TSAI (Master Degree Program in Toxicology, College of Pharmacy, Kaohsiung Medical University)

■ ナノトキシコロジー

- P-90S** 銀ナノ粒子曝露による雄性生殖能に対する毒性の評価
佐伯 悠真 (阪大薬)
- P-91S** 体内動態解析に向けた蛍光ナノプラスチックの作製
寶閣 美依 (阪大薬)

■ イムノトキシコロジー

- P-92S** マクロファージの概日時計機構を標的とした微弱電流刺激によるがん免疫亢進法の開発
鶴崎 文彬 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)
- P-93S** HLA-B*58:01 を介したオキシプリノールによる特異体質性副作用発症に関与するヒトヘルペスウイルス由来ペプチドの探索
光山 菜々美 (名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス分野)
- P-94S** 機械学習を活用した皮膚感作性強度予測モデルの開発と解釈性向上に向けた検討
徳永 朱莉 (名古屋市立大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス分野)

- P-95S** 炎症に伴い誘導される一酸化窒素によるセレン代謝リモデリング機構
高島 隼人 (東北大学大学院薬学研究所代謝制御薬学分野)
- P-96E** 免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象 (irAEs) の体系的調査及び患者の生命予後に与える影響の解析
松金 良祐 (九州大学病院 薬剤部)
- P-97S** 異なる種類の環境中微粒子による肺炎症の誘発と増悪の比較研究
劉 維 (京都大学大学院工学研究科)
- P-98S** Effects of personal care product particulates on a murine atopic dermatitis model
Binyang QIU (Graduate School of Engineering, Kyoto University)

■ クリニカルトキシコロジー

- P-99S** GPR68 を標的とした慢性腎臓病誘発性の心炎症・線維化抑制化合物の探索
佐久川 未有 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)
- P-100S** 深層学習による肝毒性回避を志向した新規医薬候補化合物の構造生成
後藤 紘心 (九州工業大学 大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系)
- P-101S** 低分子医薬品による下部消化管副作用に対する非臨床毒性試験の予測性
齋藤 将 (国際医療福祉大学 薬学部 環境衛生学分野)

■ レギュラトリートキシコロジー

- P-102S** 立体分子構造に基づく画像認識法と分子記述法の組み合わせによる高性能 Ames 予測モデルの構築と評価
岩下 悠馬 (明治薬科大学医療分子解析学研究室)

■ ディベロップメンタルトキシコロジー

- P-103S** 胎児毒性を示す化学物質による BeWo 細胞合胞体化過程に対する影響評価
奥野 和香子 (阪大薬)
- P-104S** 胎盤合胞体化過程におけるアミノ酸トランスポーター SLC6A19 の機能解明
芹澤 杏萌 (阪大薬)
- P-105S** Balb/c マウスにおけるメチルフェニデート父性曝露が次世代へ及ぼす影響
赤池 哉太 (昭和大学大学院薬学研究所毒物学分野)
- P-106S** ヒト iPS 細胞を用いた FGF シグナルかく乱の自動測定による発生毒性評価
溝田 華柊^{1,3} (¹ 横浜国立大学大学院工学研究室, ³ 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 毒性部)
- P-107S** 個別症例安全性報告データベース VigiBase に基づく医薬品の発生毒性に関する網羅的推定
駒坂 友哉 (明治薬科大学 医療分子解析学研究室)
- P-108S** 子宮内血流不全が脳発達に及ぼす影響：発達神経毒性の横断的理解
藤村 沙季 (山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部衛生化学分野)

P-109S 母体免疫活性化による神経発達影響評価における神経分化トレーサーマウスの有用性検証

長平 萌花 (岐阜薬大)

P-110S Assessment of the early developmental toxicity of chlorinated paraffins using human iPSCs

Islem BOUKARA (Center for Marine Environmental Studies, Ehime University, Japan)

■ **メタロミクストキシコロジー**

P-111E カドミウムによる絨毛外性栄養膜細胞 HTR-8/SVneo の遊走・浸潤阻害の機序解析

小串 祥子 (摂南大学薬学部 公衆衛生学研究室)

P-112S 亜ヒ酸は血管内皮細胞において ERK1/2 経路を介してトロンボモジュリンタンパク質発現を抑制する

所 諒也 (東邦大学薬学部衛生化学教室)

P-113S 亜ヒ酸がマクロファージ様細胞の PAI-1 発現に与える影響 - マクロファージタイプ別の解析 -

佐々 夏美 (東邦大学薬学部衛生化学教室)

P-114S スペシエーションによるセレン糖合成酵素 SenB の活性評価

高橋 加鈴 (千葉大学大学院医学薬学府)

P-115S 血管内皮細胞における ATF-4 活性化を介した亜ヒ酸毒性に対する防御応答

田島 誠大 (東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室)

P-116S メチル水銀誘導性神経障害に対する 4- フェニル酪酸の抑制効果

三木 峻平 (岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 薬効解析学)

P-117S カドミウムによる内皮細胞毒性に対する claudin-5/ZO-1 の寄与

山岸 達矢 (東邦大学薬学部衛生化学教室)

■ **オーガントキシコロジー**

P-118S 大腸オルガノイドを用いた IBD の病態再現および治療薬の評価

横井 歩希 (京都大学 iPS 細胞研究所)

P-119E 新規 transcriptional enhanced associate domain (TEAD) 阻害薬 K-975 のラットにおける可逆的な腎毒性

大槻 博礼^{1,2} (¹協和キリン株式会社 安全性研究所, ²静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野)

P-120S NASH マウスモデルによる肝臓病態の進行と血中 Mac-2 binding protein(Mac-2bp) 濃度の関連性の検討

神野 涼平 (東京農業大学大学院 応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻)

P-121S 遺伝子発現データを用いた機械学習による小葉中心性肝細胞肥大の発現機序解析

生駒 和希 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)

P-122S γ 線照射における培養ヒト血管内皮細胞のトランスクリプトーム解析と二次液性因子 ATP, ADP, adenosine との相関解析

小林 雅 (東京理科大学薬学部)

- P-123S** 敗血症における I_{Ks} チャネルの高分子複合体の病態生理的役割
鈴木 悠真 (静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学)
- P-124E** 患者由来 iPS 細胞を用いた進行性家族性肝内胆汁うっ滞症の病態解明
出口 清香 (京都大学 iPS 細胞研究所)
- P-125S** メチレンジアニリンを用いた飲水肝機能障害モデルマウスの樹立及び毒性プロファイル評価
岩坂 拓海 (東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室)
- P-126E** コレステロール性胆石症モデルマウス由来胆嚢オルガノイドの開発とその応用
山本 晴 (東京農工大学獣医薬理学研究室)
- P-127S** カルバミン酸エチル (ウレタン) のマウス反復投与毒性試験における病態解析
大橋 清佳 (東京農工大学大学院応用生物科学部食品安全健康学専攻)
- P-128S** 線維芽細胞増殖因子 23 は非アルコール性脂肪肝炎に伴う心筋肥大を促進する
野々下 由真 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医薬理学研究室)
- P-129S** Echinochrome による硫化水素蓄積の抑制を介した心筋梗塞後の保護機構
湯 肖康^{1,2,3} (¹自然科学研究機構 生理学研究所 心循環シグナル研究部門, ²自然科学研究機構 生命創成探究センター 心循環ダイナミズム創発研究グループ, ³総合研究大学院大学 生命科学研究所 生理科学専攻)
- P-130S** 化学物質の肝毒性最小影響量と P450 阻害活性の定量的関連性解析
内田 奈那 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)
- P-131S** 農薬のラット反復投与毒性試験結果を利用した CYP1A1 阻害活性と肝毒性関連所見の関連性解析
芝田 南美 (静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野)
- P-132E** セルトリ細胞におけるピメンチンの免疫組織化学的变化と精子形成不全との関連
齊藤 洋克 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

第2日目 (7月4日 (木)) 17:15 - 18:00) ポスター・展示会場

■ アグリカルチャルトキシコロジー

- P-133** 農薬製剤の新規 *in vitro* 眼刺激性スクリーニング評価法の検討
瓦井 克孝 (協友アグリ株式会社)
- P-134** タンパク質立体構造から薬物感受性の動物種差を理解する ~ VKOR を例にして ~
武田 一貴^{1,2} (¹北里大学獣医学部毒性学研究室, ²東京工業大学情報理工学院)
- P-135** ヒト iPS 細胞由来ニューロンの MEA 計測における殺虫剤の神経毒性評価と作用機序予測
松田 直毅 (東北工業大学工学部電気電子工学科)

■ レドックストキシコロジー

- P-136** ヒト皮膚細胞の酸化ストレス性ミトコンドリア障害に対する沖縄産植物精油の保護作用
今泉 直樹 (琉球大学医学部保健学科生理機能検査学分野)

P-137 タンパク質化学修飾を介した腸内細菌に対する環境中化学物質曝露影響

青木 はな子 (昭和大学臨床薬理研究所)

P-138 PC12 細胞における硫化水素の細胞毒性に対する falcarindiol の効果

大沼 友和 (東京薬科大学薬学部)

P-139 ミトコンドリア機能に着目した抗がん剤の心毒性評価

近藤 萌^{1,2} (¹九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学,²九州大学薬学部薬学研究院 (生理学分野))

■ **フードトキシコロジー**

P-140 細胞培養食品の開発や規制に関する最近の国際動向

五十嵐 智女 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部)

P-141 細胞培養食品バイオハザード研究2：培養細胞の遺伝子発現における老齢個体の影響と継代による生体内有害物質合成 / 分解系の遺伝子変動

堀 正敏 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻 獣医薬理学)

■ **オルガネラトキシコロジー**

P-142 ケラチノサイトにおける金属化合物の長期間処置が痒みメディエーター産生に及ぼす影響

西村 和彦 (大阪公立大学大学院獣医学研究科毒性学教室)

P-143 粒子計数分析装置による培養細胞 (株化、iPS) の生死判別評価

小田 康雅 (シスメックス株式会社 R&I 営業推進部)

P-144 加齢脂肪肝のミトコンドリアに対する肝毒性化合物の感受性

濱田 和真 (帝京平成大学薬学部薬物動態学ユニット)

P-145 Caco-2 細胞腸管上皮モデルにおけるポリスチレン粒子の透過へのタイトジャンクションの関与の検討

中川 博史 (大阪公立大学獣医学研究科毒性学教室)

P-146 終末糖化産物 (AGEs) の生成に関与するカルボニル化合物による血管内皮細胞のプロテオグリカン合成阻害

原 崇人 (東邦大学薬学部衛生化学教室)

P-147 タバコ煙曝露による心筋ミトコンドリアの過剰分裂と早期老化機構の解明

西村 明幸 (生理学研究所心循環シグナル研究部門)

■ **ジェネティクトキシコロジー**

P-148 遺伝子治療薬における AAV ベクターの宿主細胞 DNA への組み込みに関する分子生物学的および計算科学的評価

小林 雅典 (ファイザー R&D 合同会社)

P-149 マウス妊娠期無機ヒ素曝露に起因する仔の精子 DNA メチル化変化の次世代胚への伝搬様式

野原 恵子 (国立環境研究所環境リスク・健康領域)

P-150 aryl hydrocarbon receptor と imprinted genes を軸とした継世代エピジェネティック遺伝誘発機構

堀谷 幸治 (環境エピジェネティクス研究所)

- P-151** Druckrey らの発がん性データに基づくニトロソアミンの許容摂取量の設定
石原 誠司 (ファイザー R&D 合同会社 非臨床開発研究部)
- P-152** マウスの食道・前胃由来オルガノイドの樹立と発がん性評価への応用
今井 俊夫 (実中研 TR 部門)
- P-153** 量子化学計算を応用した Ames 試験予測ソフトウェア xenoBiotic の性能
澤田 敏彦 (株式会社ゼノバイオティック)
- P-154** チオ - ジメチルアルシム酸曝露細胞の浸潤能獲得におけるマトリックスメタロプロテアーゼの関与
北 加代子 (帝京大学薬学部毒性学研究室)
- P-155** rasH2 マウスを用いる肺発がん性物質の気管支投与による評価系構築の試み
井上 亮 (公益財団法人 実中研)
- P-156** エストロゲン誘発性乳がんモデル ACI/Seg ラットの組織中 DNA 脱塩基部位の測定
岡本 誉士典 (名城大学薬学部)
- P-157** 発生源の異なる環境中微粒子による DNA 損傷応答の異同
石川 良賀 (京都大学大学院 地球環境学堂)
- P-158** DNMT 阻害剤で生じる持続的な骨髄抑制の機序検討
松下 隼也 (第一三共株式会社 安全性研究所)

■ エンバイロメンタルトキシコロジー

- P-159** ナトリウムヨウ素共輸送体に対するビスフェノール A 及びその関連化合物の影響
小川 真弘 (クマイ化学工業株式会社生物科学研究所生命環境研究センター)
- P-160** バガスを基材とした磁性保持吸着剤の創製およびそのセシウムイオン吸着能に関する基礎検討
緒方 文彦 (近畿大学薬学部公衆衛生学研究室)
- P-161** 表面性状に着目したポリ塩化ビニルマイクロプラスチックの細胞毒性理解に向けた検討
芳賀 優弥^{1,2} (¹ 阪大薬、² 阪大院薬)
- P-162** エストロゲン作用物質曝露によるウズラ雄胚でのミューラー管形態異常検出の分子マーカー探索
鈴木 武博 (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)
- P-163** メチル水銀毒性に対する小麦ふすまの防御効果
永野 匡昭 (国立水俣病総合研究センター基礎研究部)
- P-164** ニッケルの投与がおよぼす雌マウスの生殖機能への影響
小林 健一 (独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)
- P-165** 4- α -クミルフェノールの子宮肥大反応に対する in vitro から in vivo への外挿
松本 真理子 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部)
- P-166** ラット 28 日間反復投与と毒性試験における病理組織学的 / 免疫組織化学的解析による抗甲状腺物質の早期検出および機序推定
豊田 武士 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)

P-167 メチル水銀毒性発現へのフェロトーシスの関与とその分子機構

山下 直哉 (東北医科薬科大学薬学部)

P-168 欧州連合化粧品規制における義務表示香料成分による TRPA1 活性化の *in silico* 評価

香川 (田中) 聡子 (横浜薬科大学)

P-169 ベルフルオロオクタン酸による乳がん細胞遊走の促進：脂肪酸 2 位水酸化酵素 FA2H の関与

要田 恒希 (福山大学薬)

■ クロノトキシコロジー

P-170 銅毒性の感受性時刻差に対する肝障害と腎障害の比較

吉岡 弘毅 (岐阜医療科学大学薬学部薬理学分野)

P-171 ヒト胃がん細胞株移植マウスに出現する概日リズム異常とその病態解明

後藤 元秀 (産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学)

■ ファーマコロジカルトキシコロジー

P-172 毒性研究に資するラット用ウェアラブルデバイスの開発に向けた挑戦

柄内 亮太 (東京大学 大学院農学生命科学研究科)

P-173 代謝反応を考慮した *in silico* 変異原性 (Ames 試験) 予測システムの開発

今村 弥佳 (富士フイルム株式会社 ESG 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター)

P-174 マウス呼吸系安全性薬理試験における無拘束呼吸機能解析法の検討

白水 誠也 (株式会社イナリサーチ)

P-175 心電図の異常検出法としてのマトリックスプロファイルアルゴリズムの応用

高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部)

P-176 三次元類肝組織 (invivo[®]) による毒性感受性評価および長期肝機能維持の確認

内藤 靖之^{1,3} (¹TOPPAN ホールディングス株式会社, ²大阪大学 先端細胞制御化学 (TOPPAN) 共同研究講座)

P-177 固相化人工膜との相互作用メカニズム情報を包含したリン脂質症誘発能の機械学習モデル

黒田 幸弘 (武庫川女子大学薬学部薬品物理化学研究室)

P-178 容器施栓系・製造工程からの潜在的な微量溶出物の毒性に関するリードアクロス評価

檜杖 昌則 (ファイザー R&D 合同会社 非臨床開発研究部)

P-179 クマ笹含有漢方サプリメント (爽牙) の犬における安全性と有効性の検討

篠原 祐太^{1,2} (¹東京農工大学農学部獣医学科, ²イスクラ産業株式会社ペット事業部)

P-180 マウス蝸牛由来不死化細胞株 HEI-OC1 細胞を用いたイマチニブ毒性機序の検討

小黒 裕嗣 (オリエンタル酵母工業株式会社 長浜生物科学研究所)

P-181 核酸医薬品のためのヒトおよびサル血清を用いた *in vitro* 補体活性化評価系の確立 - 核酸医薬安全性評価コンソーシアム共同研究 -

三宅 真波 (田辺三菱製薬株式会社)

- P-182** ヒト iPS 細胞由来心筋シート組織を用いた抗がん剤の In vitro 長期暴露試験における総暴露量と心毒性の関係性
日向 裕人 (日本光電工業株式会社荻野記念研究所)
- P-183** ラットを用いた無麻酔・無拘束下での血圧及び運動量の同時評価
長尾 友子 (日精バイロクス株式会社)
- P-184** kMoL を用いた薬剤誘発性リン脂質症予測 AI モデルの構築について
五十嵐 芳暢 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト)
- P-185** *in vitro* 発熱性物質試験における NEP 検出の妥当性
成田 和人 (食品薬品安全センター)
- P-186** PXB マウス肝臓スライスをを用いた新たな胆汁うっ滞毒性評価系
山尾 美香留 (株式会社フェニックスバイオ)
- P-187** AI によりテンプレート生成を自動化した moxifloxacin 投与カニクイザルの QT 解析の実例
波多野 薫 (株式会社カルディオインテリジェンス)
- P-188** 皮膚感作性試験代替法を用いた脂肪酸メチルエステル群の DASS 評価事例研究
本山 順子 (ライオン株式会社 安全性科学研究所)
- P-189** 心エコー検査を用いた非臨床毒性試験における心毒性評価の強化への取り組み
水野 洋 (エーザイ株式会社 高度バイオシグナル安全性評価部)
- P-190** ICH E14/S7B Q&A ベストプラクティスに準じた hERG 電流評価における適用濃度の検証及び残留電流を用いた補正
山下 慶介 (株式会社新日本科学 安全性研究所)
- P-191** In vivo 痙攣リスクを予測する in vitro MEA 試験構築の試み
宮本 憲優^{1,2} (¹エーザイ株式会社 バイオフィーマシューティカル・アセスメントユニット 高度バイオシグナル安全性評価部, ²筑波大学 医学医療系 分子創薬学)
- P-192** 個別飼育とペア飼育下におけるカニクイザル及びビーグル犬の心血管系パラメータの比較
藏野 匠 (株式会社新日本科学 安全性研究所)
- P-193** 発生毒性 Internal TTC と PBK モデルを活用した次世代リスク評価手法のケーススタディ
関根 秀一 (株式会社 資生堂 ブランド価値開発研究所)
- P-194** HD-CMOS-MEA による心毒性評価法は薬剤の作用機序予測が可能である
永福 菜美 (東北工業大学大学院工学研究科)
- P-195** 難溶性化合物の筋肉内投与を想定した媒体の局所刺激性評価
石田 彩乃 (エーザイ株式会社 グローバル安全性研究部)
- P-196** 複数のアッセイ系を用いた hERG トラフィック阻害薬の総合的評価に向けて
坪井 優 (株式会社薬物安全性試験センター)
- P-197** 平面微小電極アレイを用いたドラベ症候群脳オルガノイドにおける禁忌薬の評価
横井 れみ (東北工業大学工学部電気電子工学科)

P-198 SARS-CoV-2 由来組換えスパイクタンパク質の心臓安全性評価

柳田 翔太 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)

P-199 3 週齢ラットおよびマウスにおける側脳室内反復投与の検討

依田 将宏 (株式会社イナリサーチ)

P-200 核酸医薬品の毒性スクリーニング方法の検討

小松 弘幸 (シミックファーマサイエンス株式会社非臨床事業部)

■ ナノトキシコロジー

P-201 セルロースナノファイバーの肺胞マクロファージへの影響評価

藤田 克英 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門)

P-202 肺胞上皮腺がん細胞を用いた銀ナノ粒子の細胞死誘導と Rubicon および TFEB の影響

宮山 貴光 (東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学)

P-203 多層カーボンナノチューブのマウス単回吸入曝露による肺負荷量の経時的変化

横田 理 (国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター毒性部)

P-204 銀ナノ粒子の生体内での存在様式変化を含めた動態解析

長野 一也 (和歌山県立医科大学薬学部)

■ メタロミクストキシコロジー

P-205 亜ヒ酸は Rho/ROCK 経路を介して血管内皮細胞の抗凝固分子トロンボモデュリンの発現を抑制する

中野 毅 (東邦大学薬学部衛生化学教室)

■ オーガントキシコロジー

P-206 ケトン体で酪酸菌を活性化する新しいプレバイオティクス

佐藤 拓己 (東京工科大学・食と農の未来研究センター)

■ ドラッグトキシコロジー

P-207 The angiogenesis-modulating effects of coumarin derivatives

Yau-Hung CHEN (Department of Chemistry, Tamkang University)

P-208 Growth inhibition of cis-3,4-diaryl- α -methylene- γ -butyrolactams in MCF-7 cells

Yau-Hung CHEN (Department of Chemistry, Tamkang University)

P-209 Growth inhibition and toxicity assessments of cis-3,4-diaryl- α -methylene- γ -butyrolactams in cultured human renal cancer cells and zebrafish embryos

Yau-Hung CHEN (Department of Chemistry, Tamkang University)

P-210 Safety evaluation of cosmetic ingredients based on East Sea (Sea of Korea) mud

Jeong Doo HEO (Korea Insitute of Toxicology)

- P-211 Validation of Thyroid Disruption Assay Using Zebrafish Embryos**
Arantza MURIANA (BBD BioPhenix S.L.U (Biobide))
- P-212 On the relevance of human liver microtissues for the detection of hepatotoxic drugs early in the drug development process**
Madhu NAG (InSphero Inc)
- P-213 Ocular Findings in the Preclinical Studies of Subretinal Ocular Gene Therapy in Cynomolgus Monkeys**
Yongbin ZHANG (JOINN Laboratories)
- P-214 Non-toxic postbiotics derived from *Pediococcus pentosaceus* PHK1 inhibit angiogenic effect of colorectal cancer**
Hyunsook LEE^{1,2} (¹College of Pharmacy, Duksung Women's University, ²Duksung Innovative Drug Center, Duksung Women's University)

■ フードトキシコロジー

- P-215 The Mechanism of BPA-induced Breast Carcinogenesis and the Exploration of Phytochemicals for Prevention**
Yan Qin TAN (Food Science and Technology Program, Department of Life Sciences, BNU-HKBU United International College, People's Republic of China.)

■ ニューロトキシコロジー

- P-216 ヒト神経芽細胞腫 SH-SY5Y 細胞における重金属による細胞毒性に対する *in vitro* 分化誘導プロトコールの比較**
Jannatul FERDOUS^{1,2} (¹鹿児島大学共同獣医学部生理学分野, ²Department of Pharmacology, Bangladesh Agricultural University)

■ ジェネティックトキシコロジー

- P-217 Embracing Regulatory Compliance: Genetox meets Generation SEND**
Charuta Amol BAPAT (Instem Group of Companies)
- P-218 Exploring the Impact of Cytochrome P450 Isoforms on the Genotoxicity of Polygoni Multiflori Radix in the Ames Test: A Comparative Study Between Rat and Human Liver S9 Metabolic Enzymes**
Na Young JEONG (Genetic and Epigenetic Toxicology Research Group, Korea Institute of Toxicology)

■ エンバイロメンタルトキシコロジー

- P-219 エストロゲン作用検出のための鳥類卵内投与試験法の国際標準化に向けた検討**
Tin-Tin WIN-SHWE (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)
- P-220 トランスクリプトーム解析を用いたヒ素による血圧上昇機構の探索**
宗 才 (東京理科大学薬学部)
- P-221 マイクログリア及びアストロサイトへのマイクロ・ナノプラスチック曝露の影響：酸化ストレス及びオートファジーの役割**
宗 才 (東京理科大学薬学部)

P-222 Hematopoietic Acute Radiation Syndrome (H-ARS) in Rhesus Macaque Model

Ge DONG (Toxicology Department, SAFE Medical Technology Co., Ltd.)

P-223 Comparative toxicity of eleven bisphenol analogs in the nematode *Caenorhabditis elegans*

Yeongyu MOON (Gyeongnam Bio-Health Research Support Center, Gyeongnam Branch Institute, Korea Institute of Toxicology)

P-224 Protective effects of roselle aqueous extracts on UV-induced zebrafish fin damage

Yau-Hung CHEN (Department of Chemistry, Tamkang University)

P-225 New bisphenol A metabolites identified using high-resolution mass spectrometry and metabolomics-based data processing approach

Yi-Shiou CHIOU⁶ (Master Degree Program in Toxicology, College of Pharmacy, Kaohsiung Medical University)

P-226 Thyroid toxicity investigation of 6:2 chlorinated polyfluoroalkyl ether sulfonate using FRTL-5 cells and porcine thyroid microsome

Byeong-Cheol KANG^{1,2} (¹Graduate School of Translational Medicine, Seoul National University College of Medicine, ²Department of Experimental Animal Research, Biomedical Research Institute, Seoul National University Hospital, Seoul, Korea)

■ ファーマコロジカルトキシコロジー**P-227 形態画像ディープラーニングによる薬剤誘発ニューロン変性の in vitro 解析用 MPS デバイスの新規開発**

韓 笑波 (東北工業大学 工学部)

P-228 Identification and toxicological analysis of a novel DYRK inhibitor for pancreatic cancer treatment through structure-based drug screening

Kai-Cheng HSU (Graduate Institute of Cancer Biology and Drug Discovery, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University, Taipei, Taiwan)

P-229 Biological evaluation and toxicological analysis of a novel CLK inhibitor for cholangiocarcinoma treatment

Shiow-Lin PAN (Graduate Institute of Cancer Biology and Drug Discovery, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University, Taiwan)

P-230 The pharmacological and toxicological study of a novel cyclin-dependent kinase 8 inhibitor attenuating pulmonary fibrosis symptoms

Chia-Ron YANG (School of Pharmacy, National Taiwan University)

P-231 Assessment of Synergistic Anti-cancer Effects between Cisplatin and Doxorubicin

Gaeun KIM (Molecular and Environmental Toxicology Laboratory, College of Pharmacy, Korea University)

P-232 A novel EGFR/c-MET dual inhibitor TC-N19 induces mixed types of cell death in colorectal cancer cells

Pei-Ming YANG^{1,2} (¹Graduate Institute of Cancer Biology and Drug Discovery, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University, ²PhD Program for Cancer Molecular Biology and Drug Discovery, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University)

■ **イムノトキシコロジー**

P-233 皮下 / 筋肉注射剤の局所刺激性に関する in vitro 評価系の構築

Beibei BI (塩野義製薬株式会社 非臨床開発兼事 / 非臨床安全性 一般毒性・遺伝毒性)

P-234 Quinovic acid Enhances the Cytotoxicity of the Natural Killer Leukemia Cell Line KHYG-1 by Increasing the Expression Levels of Granzyme B and IFN-gamma Through the NK receptors and MAPK pathway

Yi-Ching CHUANG (Oral Cancer Research Center, Changhua Christian Hospital, Taiwan)

P-235 Subchronic respiratory toxic response following exposure to particles falling from building exterior walls

Eun-Jung PARK (Kyung Hee University)

■ **レギュラトリートキシコロジー**

P-236 Acute and sub-acute subcutaneous toxicity of PhotoMed[®], a novel photodynamic therapeutic agent in Sprague-Dawley rats

Eun-Sol SEONG² (Center for Animal Medicine and Foods, Korea Institute of Toxicology)

■ **ディベロップメンタルトキシコロジー**

P-237 Zebrafish embryos as model for developmental toxicology assessment

Elisabet MATEU HUERTAS (ZeClinics S.L., Spain)

■ **オーガントキシコロジー**

P-238 MSC-derived Exosomes Transferring Mitochondrial Component to Alleviate Radiation-induced Lung Injury

Kevin Chih-Yang HUANG^{1,2} (¹China Medical University, ²China Medical University Hospital)

P-239 Infection with SARS-CoV-2 Omicron BA.2.75.2 Exacerbated the Pulmonary Injury in PHMG-induced Pulmonary Fibrosis Mice

Min-Seok KIM (Inhalation Toxicology Research Group, Korea Institute of Toxicology)

P-240 Effects of Formaldehyde Exposure on Lung Injury and Diabetes in the db/db Mouse Model

Gyuhwan BAE (Inhalation Toxicology Research Group, Jeonbuk Branch Institute, Korea Institute of Toxicology (KIT))

P-241 Efficient generation of human hepatocyte-like cells from hESC enables drug discovery and liver regenerative medicine

Chen-Cheng LEE (Aurora Bioscience Co., Ltd.)

■ パソロジカルトキシコロジー

P-242 Development of AI classifiers and integration into a commercially available decision support tool for toxicologic pathology

Laoise LORD BISSETT (Deciphex)

P-243 Brief case: histopathologic analysis of xenotransplanted primates and complication of immunosuppressants

Jinhyung RHO^{1,3} (¹Jeonbuk Pathology Group, Korea Institute of Toxicology, Jeongseup, ³Center for Companion Animal New Drug Development, Korea Institute of Toxicology, Jeongseup)

第3日目 (7月5日 (金)) 13:00 - 13:45) ポスター・展示会場

■ ドラッグトキシコロジー

P-244 ヘモグロビンによるアムロジピンの死後分解

山岸 由和 (千葉大学大学院医学研究院)

P-245 UDP-グルクロン酸転移酵素のオリゴマー解析：細胞内高次オリゴマーの検出とジスルフィド結合形成に関与するシステイン残基の探索

宮内 優 (崇城大薬)

P-246 ヒト肝キメラマウスによるボセンタンの代謝と毒性

上原 正太郎 (公益財団法人 実中研)

P-247 アンチセンス医薬品候補核酸 X を皮下埋め込みポートをを用いてカニクイザルに髄腔内投与した時の脳内分布

吉川 哲也 ((株)新日本科学 安全性研究所)

P-248 アシクロビルの代謝におけるアルデヒドデヒドロゲナーゼ阻害の影響 -*in vitro* 実験

武田 紗希 (公立大学法人福島県立医科大学医学部法医学講座)

P-249 ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞 (F-hiSIECTM) の新規培養法による、薬物代謝能の改善と毒性評価への展開可能性

望月 清一 (富士フィルム株式会社)

P-250 CLEA Japan にて 26 週間飼育された *rash2* マウスにおける背景データ解析 (2020 年～ 2022 年)

保田 昌彦 (公益財団法人実中研)

P-251 ラット半月体形成性糸球体腎炎モデル作製の検討

森谷 年則 (目精バイリス株式会社 滋賀研究所)

P-252 アセトアミノフェン毒性発現におけるヒト CYP3A7 の関与

寺岡 宏樹 (酪農学園大学獣医学群)

P-253 内視鏡技術による選択的な肺がん株同所性移植モデル及び抗がん剤薬効評価系の構築

西銘 千代子 (公益財団法人実中研)

P-254 演題取り下げ

P-255 ディープラーニングを用いたラット骨髄検査の自動化 (AI 構築) に向けた検討

山口 崇 (第一三共株式会社 安全性研究所)

P-256 In silico 物性予測値を用いたミトコンドリア毒性予測 AI モデルの構築

内山 紀子 (田辺三菱製薬株式会社 創薬研究部)

P-257 電子聴診器を用いたイヌ腸音データの取得法検討

奈良 篤 (株式会社サンプラネット)

P-258 ラット及びイヌにおける各種 APTT 試薬の基礎的検討

菊川 奈保 (株式会社大塚製薬工場)

■ ニューロトキシコロジー**P-259** ラットにおける AAV9 ベクター投与に伴う末梢神経および後根神経節の機能的障害の検討

檜杖 昌則 (ファイザー R&D 合同会社 非臨床開発研究部)

P-260 全自動装置を用いた甲状腺機能低下症モデルマウスの行動解析：化学物質曝露と遺伝要因の相互作用の解明を目指した基盤的取り組み

前川 文彦 (国立研究開発法人国立環境研究所)

P-261 大脳皮質発達期におけるストレス応答転写因子 ATF5 欠損マウスの解析

梅村 真理子 (東京薬科大学 生命科学部 環境生物学研究室)

P-262 ジフェニルアルシニン酸によるラット小脳由来アストロサイトにおける異常活性化に対する D-ベニシラミンの抑制効果と回復促進効果

根岸 隆之 (名城大学薬学部)

P-263 タクロリムス誘発性神経毒性の解析及び、喘息治療薬イブジラストの神経保護作用の評価

松金 良祐 (九州大学病院 薬剤部)

P-264 メチル水銀曝露マウスにおける長期記憶能及び脳内細胞の経時的な変化

山縣 涼太 (東北医科薬科大学薬学部環境衛生学教室)

P-265 依存性薬物投与ラットの脳における遺伝子発現解析 - 新規依存性評価の探索 -

高橋 映里佳 (第一三共株式会社 安全性研究所)

P-266 EURO Guide に準拠したケージでペア飼育したイヌの社会行動解析による薬剤誘発性の精神障害評価

向井 美穂 (塩野義製薬株式会社)

P-267 CMOS-MEA を用いた Field Potential Imaging によるヒト iPS 細胞由来神経ネットワークと単一ニューロンの機能解析

石橋 勇人 (東北工業大学工学部電気電子工学科)

■ オミクストキシコロジー**P-268** BCR-ABL 阻害薬によって引き起こされる血管透過性亢進のメカニズム解析について

山下 ゆかり (第一三共株式会社 安全性研究所)

■ イムノトキシコロジー**P-269** フルタミド誘発性肝障害の発症機序の解明

田中 早織 (大阪医科薬科大学薬学部)

- P-270** カニクイザルを用いた T-cell engager 連日漸増投与による CRS 及び細胞傷害活性への影響
岩田 良香 (中外製薬株式会社安全性トランスレーショナルリサーチ本部)
- P-271** 小胞体 ATP 輸送体 Slc35b1 による免疫応答制御機構の解明
西山 和宏 (大阪公立大学大学院 獣医学研究科 予防薬理学教室)
- P-272** Effects of senescence on the Immune Responses related to sensitization potential of chemicals
Koji ISHIDA (Laboratory of Veterinary Pharmacology, Department of Veterinary Medicine, Graduate School of Veterinary Medicine, Azabu University)
- P-273** Alemtuzumab 処理時のヒト PBMC シングルセル遺伝子発現解析によるサイトカイン放出症候群発症機序の検討
菅野 彩佳 (協和キリン株式会社)
- P-274** 改変抗体医薬品の効率的な in vitro 免疫原性評価法
荒田 義之 (中外製薬株式会社)
- P-275** 免疫療法をターゲットにした抗体医薬品の in vitro における免疫原性評価法の探索
表 伯俊 (中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部)
- P-276** 核酸医薬品のためのヒト末梢血単核細胞 (PBMC) を用いた自然免疫刺激性の評価系構築 - 核酸医薬安全性評価コンソーシアム共同研究 -
泉沢 航平 (住友ファーマ株式会社)
- P-277** *Escherichia coli* と歯周疾患関連細菌の *Porphyromonas gingivalis* 由来のリポ多糖の全身投与がマウスの血中 IL-6, TNF-alpha, IL-10 に及ぼす影響
三枝 禎 (日本大学松戸歯学部薬理学講座)

■ クリニカルトキシコロジー

- P-278** 骨格筋萎縮モデルマウスにおける N-Titin の骨格筋萎縮マーカーとしての有用性
領家 克典^{1,2} (¹日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 安全性研究所, ²東京農業大学大学院 応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻)
- P-279** タキサン系抗がん剤の血管外漏出による皮膚傷害に及ぼす医薬品製剤に含まれる添加剤の影響
高石 雅樹 (国際医療福祉大学薬学部)

■ レギュラトリートキシコロジー

- P-280** 効率的な香料の遺伝毒性評価スキーム構築のためのインシリコ手法の活用に関する研究
古濱 彩子 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センターゲノム安全科学部)
- P-281** 遺伝子治療用製品の開発
AAV ベクターを用いた遺伝子治療における安全性の課題と対策
香川 雄輔 (ノバルティス ファーマ株式会社 トランスレーショナルメディシン 前臨床安全性・薬理 (PCS&P) グループ)
- P-282** タンパク質レベルで毒性を評価する新規オフターゲット評価法の開発
大岡 伸通 (国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部)

- P-283 CAR-T 細胞療法製品チサゲンレクルユーセルの非臨床安全性評価**
藤原 由佳理 (ノバルティスファーマ株式会社 トランスレーショナルメディシン 前臨床薬理・毒性)
- P-284 「毒性試験用語集」のアップデートとデータベース化の取り組みについて**
西村 拓也 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)
- P-285 GLP-1 受容体作動薬の非臨床安全性評価に関する審査側の視点**
高橋 悠記 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)
- P-286 INHAND: International Harmonization of Nomenclature and Diagnostic Criteria - An Update - 2024**
Shim-mo HAYASHI^{1,2} (¹National Institute of Health Sciences, ²Tokyo University of Agriculture and Technology)
- P-287 標準バリデータでは検出できないエラーを含む SEND Datasets サンプル-CJUG SEND ツールの有用性**
坂本 陽人^{1,2} (¹CDISC Japan User Group(CJUG) SEND team, ²メディフォード(株))
- P-288 SEND データパッケージ作成及び利活用におけるアンケート結果と考察**
保田 昂之^{1,2} (¹CDISC Japan User Group SEND Team, ²中外製薬株式会社)
- P-289 ジルコニウムブトキシドのラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験**
村田 康允 (国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部)
- P-290 SENDIG-Genetox v1.0 に基づく遺伝毒性試験の SEND 対応において想定される課題の検討**
新田 浩之^{1,2} (¹CDISC Japan User Group (CJUG) SEND team, ²小野薬品工業株式会社)
- P-291 Maximum Daily Exposures as Precedent Cases for U.S. Pharmaceutical Excipients in Comparison with Those for Japanese**
飯島 護丈 (名古屋市立大学大学院医学研究科臨床病態病理学)
- P-292 FDA の Study Data Technical Conformance Guide に従ったフローチャートによる SEND Scope の決定**
中澤 千弘^{1,2} (¹CDISC Japan User Group (CJUG) SEND team, ²エーザイ株式会社)
- P-293 自発報告システムからの新型コロナウイルス感染症後の安全性シグナル検出**
緑川 淳 (株式会社ワールドフュージョン)
- P-294 マイクロサンプリング普及のためのレギュラトリーサイエンス的解析**
高橋 一彰 (メディフォード株式会社)
- P-295 シックハウス (室内空気汚染) 問題の詳細リスク評価における有害性評価: エチルベンゼン**
井上 薫 (国立医薬品食品衛生研究所)
- P-296 化審法のリスク評価 (一次) 評価 I における発がん性定量的評価: unit risk/slope factor 適用の妥当性検討**
牛田 和夫 (国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部)
- P-297 持続型 LDL コレステロール低下 siRNA 製剤インクリシランナトリウム (レクビオ[®] 皮下注 300mg シリンジ) の非臨床安全性評価**
三上 忠世志 (ノバルティス ファーマ株式会社)

- P-298** ヒト末梢血から樹立した不死化単球細胞株を用いた発熱性物質検出系のバリデーション研究
 足利 太可雄 (国立医薬品食品衛生研究所)
- P-299** 化学物質のラット経気管肺内噴霧投与法の *in vitro* 投与量設定法の開発
 藤岡 正喜 (大阪公立大学大学院 医学研究科 分子病理学)
- P-300** 1-ノナンオールと 1-デカノールの人健康影響に係るスクリーニング評価：異なる鎖長アルコールのリードアクロスによる検討
 山下 ルシア 幸子 (国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部)
- P-301** 医薬品の生殖発生毒性試験及び生殖発生毒性評価代替法に係る状況調査
 三ヶ島 史人 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)
- P-302** 核酸医薬の目的物質由来不純物 (ヌクレオチド欠損体/付加体) による遺伝子発現変化
 石田 和也 (一般財団法人化学物質評価研究機構)
- P-303** 酢酸コバルト (II) 四水和物の *in vivo* 変異原性評価
 磯 貴子 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部)
- P-304** 非天然型構造を有する化学合成ペプチド医薬品の非臨床安全性評価に関するガイドライン案
 斎藤 嘉朗 (国立医薬品食品衛生研究所)
- P-305** ヒト iPS 細胞由来神経細胞によるピレスロイド系農薬の神経毒性評価
 安彦 行人 (国立医薬品食品衛生研究所薬理部)
- P-306** 給水設備から溶出される化学物質に関するリスク評価スキームの開発
 広瀬 明彦 (一般財団法人 化学物質評価研究機構)
- P-307** 製薬企業における SEND データの試験横断的な統合・可視化による活用体制構築の事例
 池田 圭吾 (住友ファーマ株式会社)
- P-308** Development of analytical method for thyroid hormones (T3 and T4) in blood using LC-MS/MS
 Hiromi NOZAKI (Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd)
- P-309** SENDIG-DART v1.2 の変更点と具体的な対応方法の検討
 堀川 真一 (株式会社イナリサーチ)

■ ディベロップメンタルトキシコロジー

- P-310** ジノテフランと共力剤の混合曝露によるマウスを用いた次世代行動発達毒性試験：ADI値に基づく単独及び混合投与
 田中 豊人 (東京都健康安全研究センター 事業環境科学部 生体影響研究科)
- P-311** 生殖発生毒性試験の課題対応 (2)
 — 精巢毒性を有する医薬品の開発と承認理由の分析 —
 片桐 龍一^{1,5} (¹中外製薬株式会社, ⁵日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 安全性評価技術課題対応チーム (製薬協 KT2))

- P-312 生殖発生毒性試験の課題対応（1）**
医薬品開発の製造販売承認に向けた生殖発生毒性試験のストラテジーについて
 大澤 琢郎^{1,6}（¹興和株式会社，⁶日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 基礎研究部会 安全性評価技術課題対応チーム（製薬協 KT2））
- P-313 大腿骨頸部骨梁の ex vivo マイクロ CT 解析及び有限要素解析による小児大腿骨骨幹部骨折発生リスクの検討**
 磯部 雄司（ファイザー R&D 合同会社非臨床開発研究部）
- P-314 Wnt シグナルのかく乱作用を基にしたヒト iPS 細胞を用いた発生毒性評価**
 松浦 利絵子（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部）
- P-315 γ線照射時期の違いによるラットの精巣発育への影響**
 山本 大（メディフォード株式会社）
- P-316 ゼブラフィッシュの行動解析を用いた発達神経毒性評価の試み**
 小野 美都穂（株式会社三菱ケミカルリサーチ 環境・健康・安全評価センター 新規事業推進グループ）
- P-317 農業における発達神経毒性と関連のある毒性所見の検討**
 桑形 麻樹子（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部）
- P-318 発達毒性の共通性理解に向けた子宮内血流不全モデルの確立**
 山田 和花菜（山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部衛生化学分野）
- メタロミクストキシコロジー**
- P-319 セレン糖の新規合成法およびその生体機能に関する検討**
 鈴木 紀行^{1,3}（¹東邦大学薬学部，³千葉大学大学院薬学研究院）
- P-320 メチル水銀中毒の細胞特異性の検証**
 住岡 暁夫（国立水俣病総合研究センター）
- P-321 レチノイン酸によるカドミウム毒性軽減および遺伝子発現変動**
 李 辰竜（愛知学院大学薬学部）
- P-322 ジフェニルアルシン酸はラット小脳由来培養アストロサイトにおいて特定のタンパク質に結合しうる**
 佐々木 翔斗（国際医療福祉大学薬学部）
- P-323 腎尿管領域由来細胞におけるウラン動態と局在**
 武田 志乃（量研機構 放射線医学研究所）
- P-324 有害金属曝露と腎障害部位選択的バイオマーカーとの関連**
 岩井 健太（国立環境研究所 環境リスク・健康領域）
- P-325 メチル水銀による神経細胞タンパク質の超硫黄化変動**
 鶴木 隆光（国立水俣病総合研究センター）
- P-326 ヒ素血管毒性における Nrf2 の役割 —細胞培養系を用いた検討**
 木村 優介（自治医科大学医学部環境予防医学講座）
- P-327 ラット近位尿管上皮細胞における各種金属類の細胞毒性に対するグルタチオンの保護効果**
 徳本 真紀（愛知学院大学薬学部）

■ オーガントキシコロジー

- P-328** PPAR γ により発現制御される新規 microRNA の同定 ~肝臓の脂肪蓄積因子として~
松尾 康平 (福岡大学薬学部衛生化学研究室)
- P-329** マイクロサンプリングを用いた野生型および CAR KO マウスにおけるフェノバルビタールによる甲状腺ホルモン変動の検出
矢野 純司 (住友化学株式会社)
- P-330** ALI 培養をしたマウス気管上皮細胞に対する長期たばこ煙曝露は in vivo の応答を部分的に再現する
榎部 恭子 (日本たばこ産業株式会社製品評価センター)
- P-331** 肝臓オルガノイドの培養技術開発と機能評価
山口 愛 (関東化学株式会社 技術・開発本部 生命科学研究所)
- P-332** ヒト iPS 心筋における Ca トランジェントの多変量解析手法を用いた薬物誘発性心毒性予測の有用性検討
服部 篤紀 (塩野義製薬株式会社 医薬研究本部 創薬開発研究所)
- P-333** マトリゲルサンドイッチ培養を用いずに毛細胆管形成可能な新規培地
渡邊 輝彦 (関東化学株式会社 技術・開発本部 生命科学研究所)
- P-334** GUCY2c/CD3 二重特異性抗体による消化管毒性発現機序解明のための in vitro 共培養モデルの開発
加藤 哲希 (ファイザー R&D 合同会社)
- P-335** ヒト iPS 細胞由来マクロファージ導入 3D ヒト皮膚モデルによる炎症応答評価
山崎 雄大 (キリンホールディングス株式会社キリン中央研究所)
- P-336** 表皮菲薄化、バリア機能低下を再現した 3D ヒト老化皮膚モデルの構築
森田 悠治 (キリンホールディングス株式会社 キリン中央研究所)
- P-337** カニクイザルにおけるモキシフロキサシン誘発 QT 延長作用検出に対する頻回採血の影響
上総 勝之 (アステラス製薬株式会社)
- P-338** アロプリノール誘発ラット AKI to CKD モデルにおける CD44 の発現
松下 幸平 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)
- P-339** 日本人における第 II 相薬物代謝抱合系酵素 (SLUT1E1, NAT2) の遺伝子多型と肝がん発症の可能性
小林 靖奈 (昭和大学薬学部)
- P-340** ラットを用いた化学物質の吸入による毒劇物の判定における経気管肺内噴霧投与 (TIPS) 法と全身吸入暴露法の比較
赤根 弘敏 (国立医薬品食品衛生研究所 病理部)
- P-341** In vitro 培養系を用いた胆汁酸依存的な細胞毒性の定量的な評価検討
山田 美森 (中外製薬株式会社)
- P-342** 電子聴診器を用いたサル腸音データの取得法検討
太田 恵津子 (エーザイ株式会社グローバル安全性研究部)

- P-343** カニクイザルを用いた薬剤性肺障害における肺 CT 画像の AI 解析
櫻井 健 (第一三共 安全性研究所)
- P-344** 薬物代謝を介した心毒性評価に向けたヒト凍結肝細胞と三次元心筋組織の共培養培地の検討
山崎 大樹 (国立医薬品食品衛生研究所 薬理部)
- P-345** ストレス応答因子 Activating transcription factor 5 (ATF5) の肝臓の脂肪滴形成に関わる機能解析
浦野 朱理 (東京薬科大学 生命科学部 環境生物学研究室)
- P-346** 3 次元培養ヒト近位尿管上皮細胞を用いた核酸医薬品による腎毒性評価系の構築
森村 馨 (日機装株式会社 インダストリアル事業本部 精密機器技術センター 開発部)
- P-347** ラットにおける食餌誘発性非アルコール性脂肪性肝炎様病態の系統差
宇野 絹子 (京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 生体機構学分野)
- P-348** 多点電極アレイを用いたヒト iPS 細胞由来心筋細胞のインピーダンス測定による心収縮機能評価系の開発
原 玲子 (富士フイルム株式会社)
- P-349** ラット近位尿管由来細胞を用いたカドミウム再吸収障害機構の解析
藤代 瞳 (徳島文理大学薬学部薬物治療学研究室)

■ パソロジカルトキシコロジー

- P-350** ウシ角膜を用いる混濁度および透過性 (BCOP) 試験法への病理組織検査組み込みの提案—実装に向けた新たな展開—
安彦 由喜恵 (株式会社化合物安全性研究所)
- P-351** 実験動物病理標本交見会における免疫染色データベースの構築及び活用
諸木 孝泰^{1,2} (¹実験動物病理標本交見会, ²大塚製薬 (株) 徳島創薬研究センター 前臨床研究所)

■ ドラッグトキシコロジー

- P-352** Developing predictive in vitro Glomerulus, Proximal Tubule and Loop of Henle renal cell model platforms to investigate the renal uptake and nephrotoxic liability of Large Molecules
Colin BROWN (Newcells Biotech)

■ エンバイロメンタルトキシコロジー

- P-353** Utilization of high-content imaging for the study of lung fibrosis
Colin BROWN (Newcells Biotech)